



週刊 Y E A R B O O K

1985  
昭和60年

# 日録20世紀

414

平成10年4月14日発行  
(毎週1回発行)第2巻第14号

¥560  
講談社

## 日航ジャンボ“御巢鷹の悲劇”

エイズ日本上陸と“抹殺”された2患者の死  
618万本販売!「スーパーマリオ」大ブレイク  
“1億総グルメ”時代が変えた日本人の舌







▲日航機墜落現場。機体は広範囲に散らばり、わずかに主翼の一部と尾翼が原形をとどめるだけ。急斜面ということもあって、遺体の捜索・収容は困難をきわめた。 共同通信社



▲迷走を続けた日航機は、御巣鷹(写真前方)に激突、炎上した。

「死闘」が繰り広げられた  
三三分間ものダッチロール

昭和六〇年八月二日、乗員・乗客合わせて五二四人が乗った、日本航空の大阪行き123便ジャンボ機を異常事態が襲ったのは、羽田空港を離陸してから一二分後の午後六時二四分。相模湾上空を飛んでいる時だった。

「ドーン」という衝撃音を機体の後部に感じた高浜雅己機長(四九)は、とっさ

に緊急信号「スクォーク77」を発した。しかし、約三三分間にわたって機長らが壮絶な戦いを繰り広げることになるボーイング747型機の命運は、すでにこの時点でつきていたのである。

衝撃音の直後、高浜機長は東京航空交通管制部に羽田への帰還を要求するが、すでに同機は、後に彼が「ナウ・アンコントロール(現在、操縦不能)」と繰り返す、何の操作も受けつけない「二五〇」の金属の塊と化していた。

「ハイドロ(油圧系統)全部だめ」と高浜機長が叫んだ六時二六分には、123便は8の字を描くように揺れるダッチロールにおちいり、富士山上空をかすめて秩父山系へと迷走し始める。

六時四六分、高度警報音が鳴り響く中、エンジンパワーだけで機首の方向を変えようと必死に試みるコックピットで、「豪胆」で通る高浜機長が「だめかもわからんね」とつぶやく。この頃、最初の衝撃

32分間の「ダッチロール」の後に  
犠牲者520人、航空史上最悪の事故!

# 日航ジャンボ 「御巣鷹の悲劇」



▶8月13日午前10時54分、散乱した機体の中から、奇跡的に生存している川上慶子さんが発見された(写真中央)。

◎表紙 生存が確認された川上慶子さんは、自衛隊員に抱きかかえられ、ヘリコプターで救助された。



# 32分間の「ダッチロール」の後に犠牲者520人、航空史上最悪の事故！日航ジャンボ「御巣鷹の悲劇」

## 発見された5通の遺書

●大阪商船三井船舶神戸支店長

河口博次さん(52)

「マリコ 津慶 知代子 どうか仲良く がんばって ママをたすけて下さい パパは本当に残念だ きっと助かるまい 原因は分らない 今5分たった もう飛行機には乗りたくない どうか神様 たすけて下さい きのうみんなと 食事したのは 最後とは 何か機内で 爆発したような形で 煙が出て 降下しました どこえどうなるのか 津慶しつかり た (の) んだぞ ママ こんな事になるとは残念だ さようなら 子供達のことをよろしくたのむ 今6時半だ 飛行機は まわりながら 急速に降下中だ 本当に今迄は 幸せな人生だった と感謝している」

●チッソ株式会社ポリプロ繊維部主任

谷口正勝さん(40)

「まちこ 子供よろしく 大阪みのお 谷口正勝 6・30」

●阪急電鉄・松本圭市さん(29)

「知子 哲也 (両親を) たのむ 圭市 突然ドカンといってマスクがおりた ドカンといて降下はじめる しっかり生きろ 哲也 立派になれ」

●元日航職員・白井まり子さん(26)

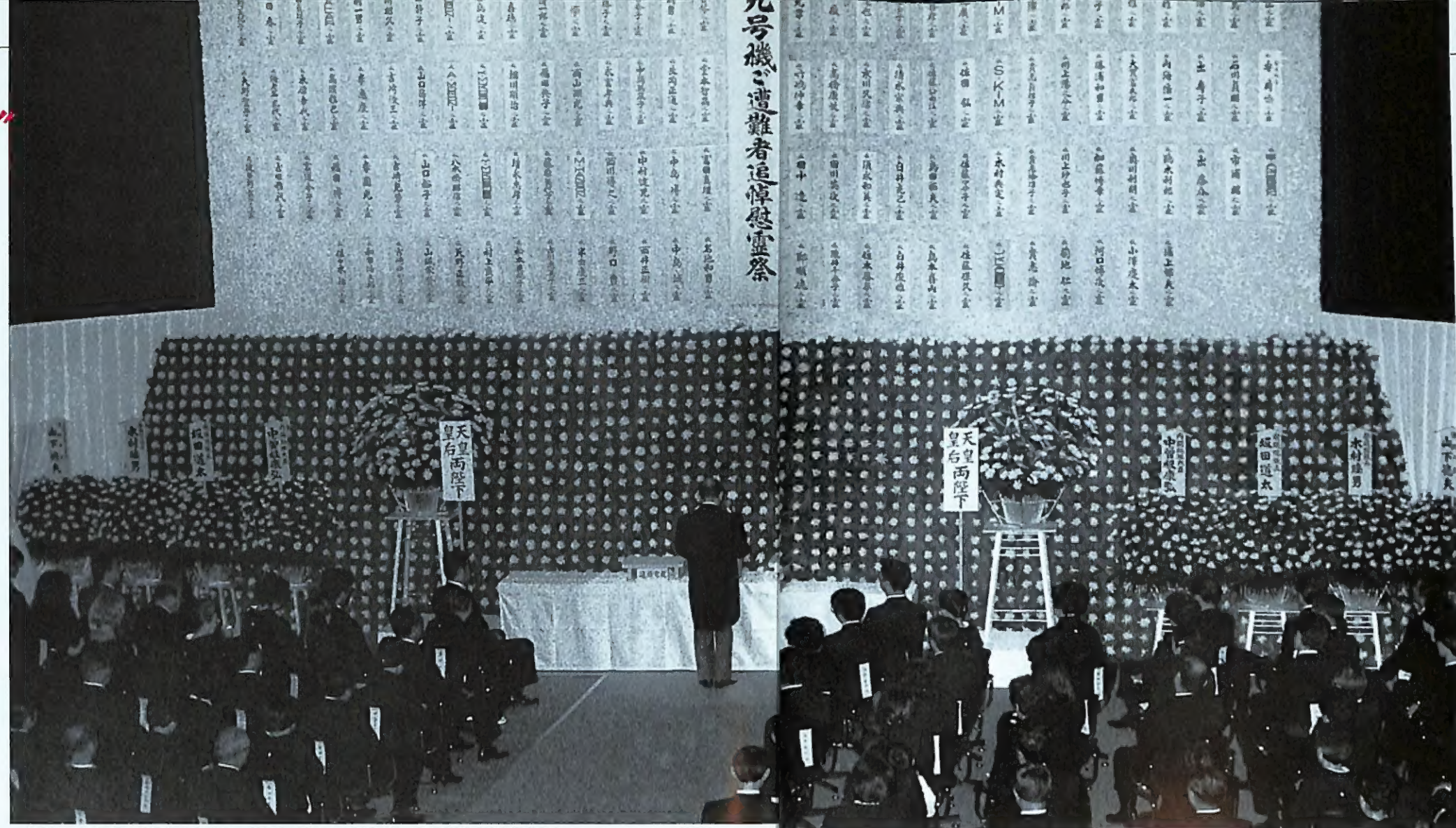
「怖い 怖い 怖い 助けて 気持ちが悪い 死にたくない まり子」

●富士電機サービス課・村上良平さん(43)

「機体が大きく左右に揺れている 18・30 急に降下中 水平ヒコーしている 日本航空 18・00 大阪行事故 死ぬかもしれない 村上良平 みんな元気でくらして下さい さようなら 須美子 みき 恭子 賢太郎 18・45 機体は水平で安定して 酸素が少ない気分が悪い 機内よりがんばろうの声がする 機体がどうなったのかわからない 18・46 着陸が心配だ スチュワーデスは冷せいだ」



共同通信社



▲10月24日、東京・日比谷公会堂で、遺族ら約1400人が参列して、東京地区追悼慰霊祭がいとなれた。115遺族

ツト機の神話を打ち砕いたからだ。「ボーイング747型は、一部が壊れても構造全体に波及しないフェイルセーフの設計方針で作られていました。ところが事故機は、離陸後に後部の垂直尾翼と圧力隔壁が破損し、操作機能を完全に失っていた。もし構造の欠陥によるものであれば、世界を飛ぶ六〇〇機への疑念が生まれてくる。それだけに、事故は航空関係者にとって衝撃だったのです」と、日航の現役整備員は語る。

こうした懸念をよそに、事故直後に始まった調査で注目されたのは、同機が七年前に起こした「尻もち事故」だった。事実、「御巣鷹の悲劇」から二五日後の九月七日に、ボーイング社は「(同機が尻もち事故を起こした際) 隔壁継ぎ板を不適当に修理した」と、ミスを認める声明を発表。事故調査委員会も、昭和六二年に「修理ミスによる隔壁破壊が主因」と結論づけた。747型機の構造自体への疑念は、異論がくすぶり続けているにもかかわらず、封印されたのだ。

その一方で、「この惨事は一〇以上の

要因が連鎖して起きた」と指摘するのが、航空評論家の関川栄一郎氏だ。

「メーカーの修理に立ち会わず、隔壁の異常も見逃していた日航の整備体制もそのひとつ。この事故には一五近い要因が重なったのですが、それをつなぐ役割をはたしたのは、天下のボーイングや日航、という気のゆるみだったと言えます」

当時の日航は、さまざまなトラブルや、死者が出る事故も相次いでいた。それだけに、この惨事によって、「利益第一主義」の運航体制や整備体制など社内体制への批判が噴出。同年二月には首脳人事が刷新されたのである。

「事故後は、隔壁のチェックなど整備体制は格段に向上した」と現役整備員は話す。しかし、規制緩和などによって航空会社が一層熾烈な競争を繰り広げている現在では、「事故の記憶が風化し、昔に逆戻りした」という指摘は根強い。

大勢の運命を狂わせ、各界に波紋を投げかけた日航ジャンボ機事故から一三年——ちなみに、奇跡的に生還した四人の中で、日航パーサーだった落合由美さんは平成三年まで日航につとめ続け、事故で両親と妹を亡くした川上慶子さんは看護婦として成長、平成七年の阪神・淡路大震災では被災者の看護に活躍した。

## 本当に隔壁の修理ミスか封印された構造への疑念

山中から遺体で収容されたのは、一家の嫁き手二五四人、主婦五八人、学生七二人、幼児三人など。ハウス食品工業社長の浦上郁夫(四八)、阪神タイガース球団社長の中埜肇(六三)、歌手の坂本九(四三)ら著名人も含まれていた。

事故発生から三日間に、現場近くの藤岡に駆けつけた遺族は約三〇〇〇人。派遣された日航社員は一〇〇〇人にのぼった。遺体が安置された体育館からは、号泣やなじり声が聞こえてくる。その後、さまざまな苦悩を味わうことになる遺族たちの最初の苦しみだった。

この事故が衝撃を与えたのは、「最も安全な飛行機」と言われたジャンボジェ



▲群馬県藤岡市立東中学校体育館で、収容された遺体の検視を待つ家族。言葉も少なく、ひたすら待ち続けた。朝日新聞社

音で酸素マスクが下りていた客室では、「赤ちゃんは抱いて。ベルトはしてありますか」と、スチュワーデスたちが気丈に注意してまわっていた。

六時四七分に「山にぶつかると、五分には「うーうー、ブルアップ(引き起こせ)」と叫ぶ高浜機長。五六分に接触音。続いて二回目の激突音――。

これが、後に発見される同機のボイス・レコーダーがとらえていた、墜落前のコックピット内の様子だった。

東京航空交通管制部が「日航機不明」の一報を自衛隊や海上保安庁に伝えた六時五四分頃、東京のホテルで開かれていた日航関連のパーティーで一斉に出席者

のボケベルが鳴る。高木義根社長(七三)をはじめ重役たちが、社員から「123便が消えました」と耳打ちされた一五分钟后には、出席者の半分が出口に殺到していたという。

翌二三日午前四時頃には、自衛隊の救難ヘリが群馬県の御巣鷹(標高一五六五)に激突した123便の残骸を確認した。機体は原形をとどめないまでに破壊されていたが午前二一時頃、落合由美(二六)、川上慶子(二二)、吉崎博子(三四)、美紀子(八) 母子の四人の生存者が奇跡的に発見される。

犠牲者は計五二〇人――単独機の事故としては航空史上最最大の規模だった。



# なぜ血友病患者二人の死は抹殺された 厚生省・薬剤メーカー！医師の癒着と犯罪 エイズ、ついに日本上陸！

「対岸の火事」が日本に飛び火した。昭和六〇年三月二日、厚生省のエイズ（後天性免疫不全症候群）調査検討委員会は、アメリカ在住の独身男性アーチストを日本人のエイズ患者第一号に認定した。しかしその後、輸入血液製剤によるエイズへの感染事実が露呈。厚生省の「薬害隠し」が浮きぼりになっていった。

## 現代の「黒死病」が ついに日本へ上陸

「日本にも真性エイズ」患者、既に死亡。輸入血液製剤で感染。

昭和六〇年三月二日、「朝日新聞」朝刊は、一面トップで大々的にエイズの日本上陸を報じた。

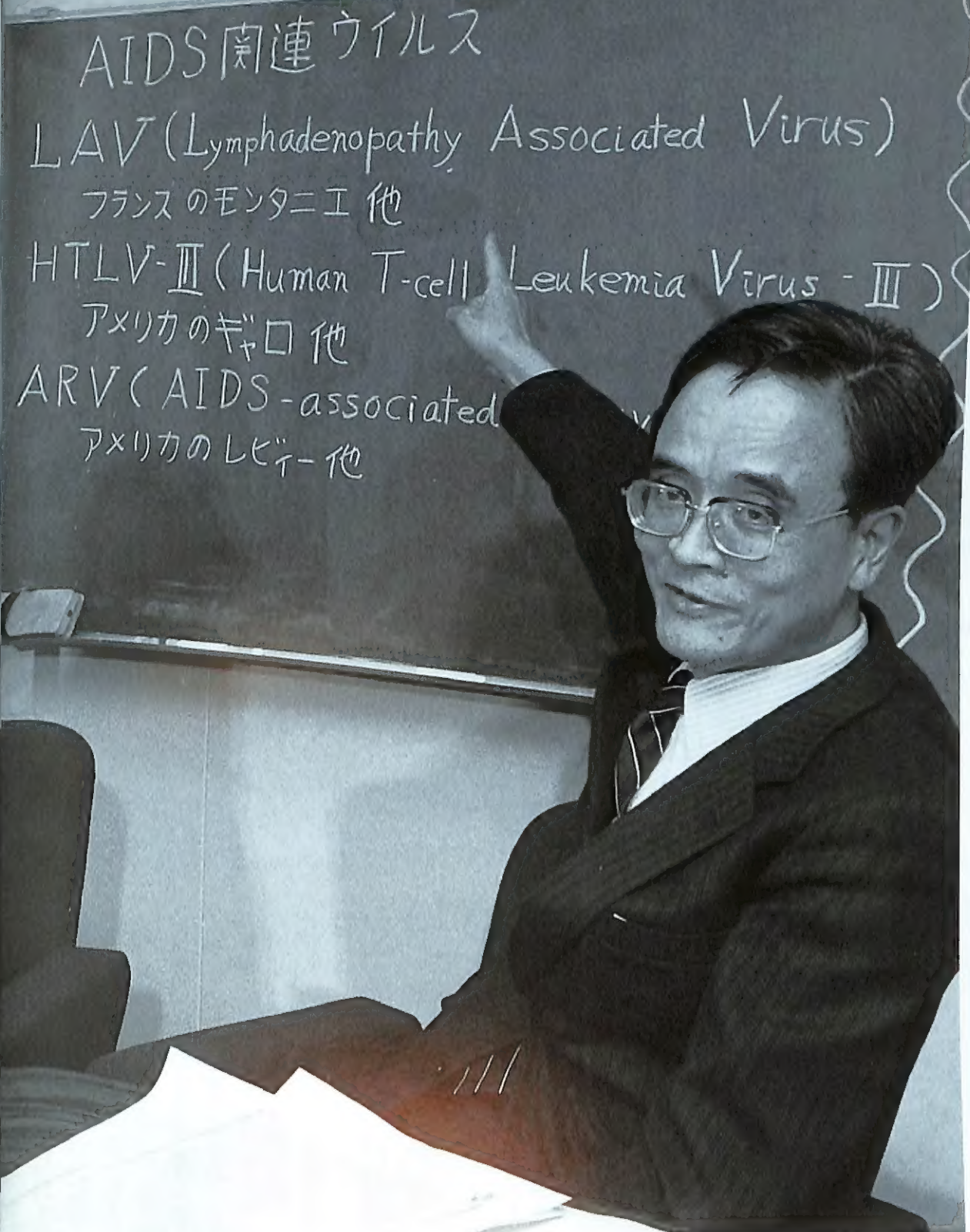
それは、アメリカを中心に多発しているエイズ患者が日本でも発生、すでに死者二人が出たことを、厚生省・エイズ研究班の初代班長だった安部英帝（あべひてい）大学教授（医学部長・内科）が、近く医学専門誌「代謝」に公表するというものであった。そしてその論文は昭和六〇年四月号（二二巻五号）に発表された。

安部教授によれば、死亡したのは、いずれも関東地方に住む血友病の男性で、昭和五八年七月に死亡したDさん（当

員会では、先に安部教授が診断したDさんとQさんの二件の症例についても検討したが、資料不足で結論は出せなかったと言う。つまり厚生省では、エイズは男性間の性交渉によって感染する、ということ強調しているのだ。

しかし、この安部教授と厚生省のくい違いは何に起因しているのだろうか。その後「エイズ問題」の暗部を追いつけた、ジャーナリストの櫻井よしこさんは次のように語る。

「Cさんを患者第一号と認定した厚生省の発表は、薬務行政の責任を隠蔽（いんぺい）するためのものでした。すでに昭和五九年末には、島根大学の栗村敬元教授が、日本のエイズが血友病患者に投与され続けた非加熱血液製剤が原因の薬害であることを、厚生省にも伝えていたのです。非加熱製剤の使用を即刻禁止しなかったことから世間の目をそらさせ、性感染の恐怖をおおるための画策だったと断言できます」



▶昭和60年3月22日、厚生省のエイズ調査検討委員会が、日本人初のエイズ患者を認定。写真中央が委員長の塩川優一順天堂大学名誉教授。共同通信社

時・四八歳）と五九年一月に死亡したQさん（当時・六二歳）であった。

日本におけるエイズの実態調査のため、厚生省のエイズ研究班が発足したのは、昭和五八年六月。班長だった安部教授は、臨床状況から二人がエイズとの確信を持ち、五九年秋、二人の血液を米国立衛生研究所に送り確認を求めている。その結果、二人はエイズウイルスに感染していることが判明したのである。しかも同教授は、この時、同時に帝京大学病院などの血友病患者五〇人の血液を送り、うち二三人（四六名）がウイルスに感染しているという回答も受け取っていた。

しかし、奇妙なことが起こった。安部

教授の発表から二日後の三月三日、今度は「読売新聞」などが「エイズ初の日本人患者 米国在住の男性 二次感染恐れなし」と、先に死亡した二人とはまったく異なるケースを報じたのである。

この「エイズ患者第一号」を認定したのは、厚生省エイズ調査検討委員会（委員長・塩川優一順天堂大学名誉教授。第一号患者と認定されたCさん（当時・三六歳）はアメリカ在住のアーチスト。すでに「エイズ禍」が広がるアメリカで数多くの男性と性交渉を続けていたが、五九年二月、日本に一時帰国した間に診察を受け、エイズ患者と認定されたというものだった。また、この調査検討委



▲エイズ感染防止のためのコンドーム使用奨励キャンペーン。共同通信社





▲フェミニズムの立場を堅持。

昭和四五年（一九七〇）に日本にリブ運動が上陸して一五年を経たが、「リブ」は一九八〇年代になると「フェミニズム」なる言葉におき替えられ、女の生き方、女性学がさかんに論じられるようになった。

その先駆けとなったのが、平安女学院短大助教授で社会学者の上野千鶴子（三六）で、彼女はこの年一月、「産む性・産まない性」（『看護学生』第三巻一〇号）を発表したのを皮切りに、女性誌や総合雑誌に次々と論文を発表。彼女はそれらの論文の中で、子を産むことと女の幸福もしくは不幸の関係性、母性という言葉についてまわる落とし穴、あるいは、職業か家庭かという二つの選択の間で引き裂かれている現代の女性たちの問題を提起、フェミニズムの旗手として注目をあびた。

これらの論文は翌昭和六一年「女という快楽」という本にまとめられ、一刷を重ねたが、そもそも「上野千鶴子現象」と言っている旋風が巻き起こったのは昭和五七年に出版された「セクシー・ギャルの大研究」で「ぶりっ子」たちの生態を記号論的にとらえ、ニュータイプの女性論として論壇の話題をさらってからのことである。

以後の彼女は、男と女の関係の解放をアグネス論争で子連れ出動で批判をあびたアグネス・チャンをあえて擁護、これまでフェミニズムに無縁だった人々の関心も引きつけた。さらに、女性性を表す四文字を巻頭にちりばめたエッセイ「女遊び」（六三年）や、パンティにまつわる社会風俗を論じた「スカートの下の劇場」（平成元年）はたちまち話題の書となり、中年男性に、より多く読まれるという珍現象をもたらした。「上野千鶴子ブーム」について、彼女自身は「時代が私に迫っていた」と語っているが、ラディカルで複眼的な戦略が功を奏したのである。

上野千鶴子は、昭和三三年富山県生まれ。父親は開業医。兄と弟の間には三男三女が育った彼女は、子ども心に親の期待が兄と弟にあることをかきとったと言う。抜群に頭のいい少女は京都大学に入学、大学院も含めてここで二年間をすごした。女性問題に目覚めたのは二九歳の時、「日本女性学研究会」に出会ってからのこと。この出発から一貫して女性論のエキスパートとして活躍してきたが、平成五年東京大学文学部の教授に迎えられる後も、しなやかに複眼的な「知」の論陣を張り続けている。

## 女たちの肖像 上野千鶴子現象が起る ニュータイプの女性論で フェミニズムの旗手に！

稲葉真弓

## 勝者・敗者 左足首の故障にもめげず 新日鉄釜石を「七連覇」へ 松尾雄治、最後の爆発！

阿部珠樹

松尾雄治（三〇）の左足は、本人の言葉を借りれば、「ロースハムのように」腫れ上がっていた。以前から傷めていた左足首の化膿性関節炎が、シーズン最後の日本選手権を前に悪化したのだ。

ラグビーの日本一を決める試合。松尾は社会人の新日鉄釜石を率いるブレイキングマネジャーである。相手は平尾誠二（二二）、大八木淳史（二三）など学生のレベルを超えた逸材をそろえる同志社大学。楽な試合ではない。それに、ただ日本一を決めるだけの試合ではなかった。この試合を最後に、松尾は現役を退くことを決めていた。釜石は前年まで六年連続日本一を続けてきていた。七連覇の懸念が、現役最後の試合。そこに十分な状態で出られないなんて。

さんざん迷ったすえ、松尾は足にメスを入れることにした。手術をして試合に出られる保証はなかったが、何もしないよりはましと考えたからだ。試合当日、一月五日には、なんとか走れる程度には回復していた。痛み止めを打って試合にのぞむ。

前半、釜石は同志社に押しこまれた。FW陣は踏んばるものの、攻撃を組み立てる松尾にいつもの牙がけない。キックは正確さを欠き、ボールを持って相手手を切り裂くようなステップが踏めない。結局、前半は二対一と一点リードを許してしまう。

しかし、後半に入ると、釜石は、六連覇の底力を徐々に見せ始める。開始四分にP

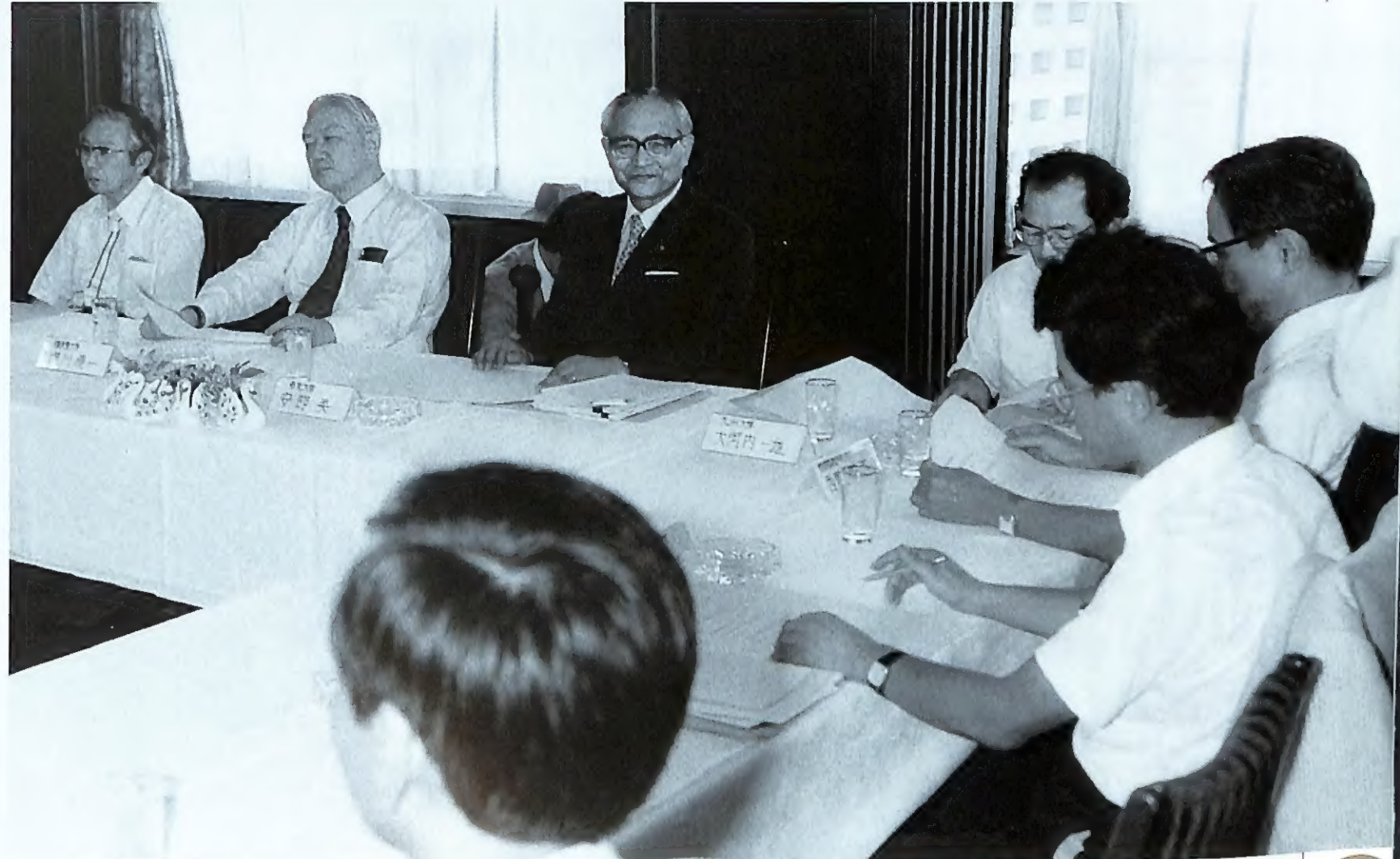


時事通信社

Gで逆転した後、一九分、ついに松尾が爆発する。全盛時を思わせる華麗なステップで同志社の守りを切り裂き、味方のトライにつなげたのだ。これで決まりだった。釜石はさらに二本のトライを決め、同志社を突き放し、三二対一七で七連覇を決めた。

仲間たちに肩車された松尾は、陽気にVサインを出した。明るさが身上の男である。「今朝は六時に目がさめた。今日で終わりと、思うと寂しかったが、今は幸せだ」

足の怪我にはまったく触れず、ラグビー界最大のスターは、華やかにグラウンドを後にした。



▲エイズ研究班会議で挨拶する、座長の帝京大学医学部長・安部英（写真中央）。安部は加熱剤の使用を意図的に遅らせたとして、平成八年8月に逮捕される。共同通信社

## 患者無視の厚生省 「薬害隠し」にメス

エイズは、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）を病原体とし、発症した患者の七五が死亡すると言われる現代の「黒死病」である。

エイズが最初に報告されたのは、昭和五六年の七月、カリフォルニア大学医学部でのことであつた。その後、エイズ患者は急速に広がり、昭和六二年九月には、世界の患者数が三万一千六四六人に達し、昭和六三年には、アメリカの九万二八〇四人を筆頭に、一四三カ国に伝播、その総計は三万二千九七六六にもおよんでいた（WHO報告）。

日本のエイズ患者もふえ続けた。厚生省が第一号患者を認定してからわずか半年間に、二人がエイズ患者と認定され、その内訳は、血友病患者が五人、同性愛者が六人というものであつた。

厚生省は、昭和六〇年七月、血友病患者の感染源とされた非加熱製剤をミドリ十字など各製薬会社の自主回収にまかせる一方、加熱製剤を承認したが、時をすでに失っていた。

案の定、薬害は深まっていた。平成八年二月一六日、川田龍平氏らエイズに感染した血友病患者の抗議に対し、菅直人厚生大臣（当時）が深く頭を下げ、厚生省の内部資料が表に出ると、薬害隠しの事実が明らかになっていった。そしてついにこの年八月二九日、帝京大学副学長職にあった安部英が逮捕され、続いて九月一九日にはミドリ十字歴代社長の三人、一〇月四日には厚生省元生物製剤



▲平成八年2月7日、厚生省などとの和解協議後、記者会見する東京HIV訴訟の原告団。右端が川田龍平氏。共同通信社

課長の松村明仁が、いずれも業務上過失致死傷の罪で起訴された。

起訴事実によれば、この三者は輸入非加熱製剤の危険性を十分知りながら、安全な国産のクリオ製剤への転換をはからず、加熱製剤製造で技術的な遅れをとる日本の製薬メーカーの足並みがそろいうまで、加熱製剤の使用を意図的に遅らせたというものである。

とりわけ安部は血友病患者に対して「エイズは心配ない」と嘘をつき通し、松村は安部の新聞公表に際し、「厚生省に事前相談もなく、何を考えているんだ」と口走り、それぞれの思惑にすれ違いを見せた。しかしそれは、いずれも患者無視という点で同根であつた。

平成九年一〇月現在、わが国における各医療機関からのエイズ患者の届出は一七〇五人、感染者は四二二三人。感染者のうち、凝固血液製剤による人が一八〇八人、異性間の性交渉による人が一一八五人、同性愛者は五五〇人、これまでの死亡者は九八三人にもおよんでいる。









毎日新聞社

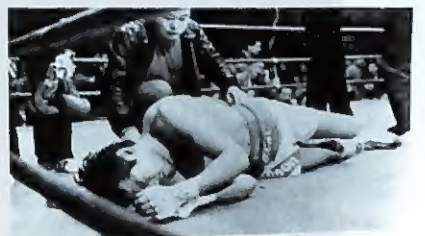
▲井筒兄弟、そろって幕内(2月25日)春場所新番付で逆鋒(右)の弟・寺尾(左)が入幕、谷風(横綱)・達ヶ関以来194年ぶりの快挙となった。上は、父親の井筒親方。

▲パチスロ追放(2月6日)警察庁が流行のパチンコ型スロットマシンに対し、出玉をふやすなど客の射幸心をあおるものが多いと判断。9月末までの撤去を要請した。



共同通信社

▲江夏豊(36)大リーグ挑戦(2月)シーズン401奪三振の記録と「優勝請負人」の異名を持つ男が、最後の夢をブルージェイズに求め、オープン戦で好投したが不採用となった。



報知新聞社

▲「浪速のロッキー」重体(2月5日)世界Jウェルター級9位・赤井英和(25)がKO負け後、脳出血で手術。ボクシング協会は、これを機に選手の脳断層撮影を実施した。

▲新潟県青海町で土砂崩れ(2月15日)「崩壊危険地区」指定の崖が、雪解けでゆるみ、7棟が全壊、10人が死亡した。コンクリートの土留めが、かえって被害を増した。

読売新聞社



読売新聞社



▲全日本女子サッカー選手権大会開催(3月28日)全国から16チームが参加、東京・西が丘サッカー場で4日間の熱戦が展開された。過去13試合失点0の清水第8スポーツクラブが、無失点記録をさらに17に伸ばし、5連覇を達成した。



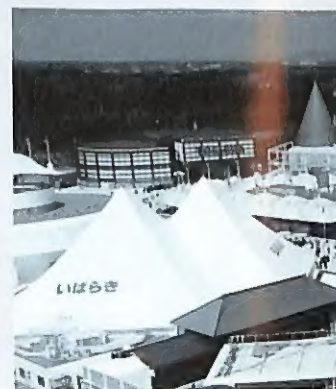
読売新聞社

▲キャバクラ繁盛(3月)風俗店を規制する新風営法が発効した2月13日以降、急にふえ始めた。サービスはクラブ並み、料金はキャバレー並み。写真は20日撮影の東京・新宿の「ゴンドラ」。料金は1万円ほどだった。

▶金属バットに「適合品シール」(3月19日)安全性と「飛びすぎるバット」の問題解消のため、日本高校野球連盟が6社80銘柄を発表、3月26日開幕の春の選抜高校野球大会から適用した。

▶「科学万博」開催(3月16日)茨城県の筑波研究学園都市で9月16日まで行われ、3D映像、ロボット演奏などのパビリオンが1~2時間待ちの人気。期間中に2033万人が訪れた。

▲新幹線・上野駅開業(3月14日)遅れていた東北・上越新幹線の上野一大宮間が開通、地下4階の専用ホームも完成。これで「北の玄関」が復権した。



## 昭和60年3月

1(金) 相互銀行など、市場金利連動型預金(MMC)の取り扱いを開始。

2(土) 摂津市、自治体初のパート退職金条例案可決。

3(日) 佐々木七恵、引退レースの名古屋国際女子マラソンに自己最高記録で優勝。

4(月) 森進一ら歌手6人が武道館でチャリティーコンサート「アフリカの子供に水とミルクを」開催。

5(火) 郵政省、千葉・札幌など10都市を高度情報化社会のモデルにする「テレピア」に指定。

6(水) 韓国で金大中、金泳三らの政治活動規制解除。

7(木) 高野連、「飛ぶ金属バット」使用禁止を決定。

8(金) CD普及でレコード針企業に倒産もと新聞に。

9(土) 大分県九重町で大型クレーン車と観光バスが衝突。二人死亡、三人重傷。

10(日) 青函トンネル、着工以来二年で貫通。

11(月) ゴルバチョフ、ソ連共産党書記長に選出。田無市で自治体初の男性職員の育児時間承認。

12(火) ミソ、包括軍縮交渉第一回会合を開始。

13(水) 連続企業爆破事件の宇賀神寿一に懲役一八年。

14(木) 東北・上越新幹線の上野・大宮間が開業。

15(金) フィリピン紙に「日本農家への花嫁」募集広告掲載され現地に反発の声、と新聞に。

16(土) 科学万博「くは85」開幕(9月16日)。

17(日) 入国者数が初めて二〇〇万人突破と法務省。

18(月) 震度測定を体感から機械測定に転換と気象庁。

19(火) 給与所得者の三割強が住宅ローン返済中、と総務庁家計調査。

20(水) 平和相銀、不良貸付問題でオナーを解任。

21(木) 南アで人種差別めくり暴動、黒人一人射殺。

22(金) 厚生省、初の日本人エイズ患者を認定。黄海で訓練中の中国海軍魚雷艇内で七名めく。

23(土) イッキ飲みでの急性アルコール中毒が急増と新聞に。

## 昭和60年2月

1(金) 国鉄、赤字対策として全国初の直営「こひー」スタンド(ベル)を上野駅に開設。

2(土) 三十二間、南大門にクレール車衝突、破壊。

3(日) 商社がベンチャービジネス育成に力と新聞に。

4(月) 札幌高裁、梅田事件(昭和25年)の再審決定。

5(火) 「浪速のロッキー」赤井英和、KOされ危篤。

6(水) 警察庁、パチスロを九月末までに撤去と通達。

7(木) 竹下登ら田中派議員四〇人、「創政会」結成。

8(金) 電電公社、日本縦貫光ケーブル伝送路を開通。

9(土) 住都公団、犬猫飼育の入居者に退去請求決定。

10(日) 京都で日米加とECCの四極通商会議開催。

11(月) 中曽根首相、「建国記念の日を祝う会」主催の式典に首相として初めて出席。

12(火) 和光大講師ら、脳死者からの臓器摘出、移植を行った筑波大教授らを殺人罪で告発。

13(水) 新風営法施行。警察の監督権限を強化。

14(木) 東芝、次世代超LSI「DRAM」のサンプルを今夏から出荷と発表。

15(金) 飢餓のチチオピアで、英・西独、ソ連などが食糧投下作戦を本格開始。

16(土) 新潟県青海町で規模大土砂崩れ。一〇人死。

17(日) 厚生省、薬価基準改正決定。平均六割下げ。

18(月) 健康組合の七割で本人負担払い戻しと判明。

19(火) ペルシャ湾で日本人三五人乗組のクウェート船難貨物船が被弾。二人死傷。

20(水) 硫黄島で遺族らと米海兵隊が合同慰霊祭開催。

21(木) ミニolta、自動焦点一眼レフカメラ「α7000」を発売。

22(金) この一〇年、株価上昇の上位は薬品とハイテクが独占、証券広報センター。

23(土) 文化財保護審、沖縄生息の日本最大の甲虫ヤンバルテナガコガネの天然記念物指定を答申。

24(日) 川崎市、指紋捺捺拒否の外国人を告発しないと決定(5月)市の発表なく初めて韓国入連捕。

25(月) 高知市の競馬場で暴行団抗争。三人死傷。

26(火) 大相撲新番付発表。寺尾が入幕し、逆鋒と兄弟同時入幕は一九四年ぶり。

27(水) 高校生の四五割が中退をえたと意識調査発表。

28(木) カムチャッカ沖で八戸市の漁船が転覆。二〇人死、行方不明。

29(金) 田中元首相、脳梗塞で入院(長期療養生活へ)。

30(土) 東京都、大気汚染対策のためトラックの走行量を一割減らす目標を設定。

31(日) 鹿兒島県で釣り船転覆。二七人死、不明。



望月誠

▼トンネル工事で住宅地陥没(3月28日)東大阪生駒電鉄の工事中に、異常出水と土砂崩れがあり、しばらくして真上の住居の裏庭直径30メートルほどが25メートル落下。家屋の一部も倒壊した。



朝日新聞社



▲サラリーマン税金訴訟、上告棄却(3月27日)必要経費を店主などと同等に認めないのは違憲、とした元同志社大教授・故大島正の訴えを、最高裁は「給与所得控除の中に含む」として退けた。



朝日新聞社



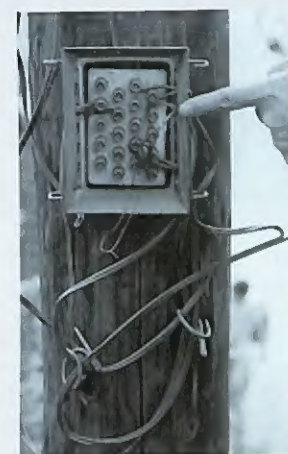


▲足を失った盲導犬に対人保険金(4月15日)突っこんで来た車に飛びかかって主人を守ろうとした「サーブ」(写真)を盲人の身体の一部とする主張が、名古屋簡裁の調停で認められた。事故から3年ぶりの朗報だった。

▼12代目市川團十郎誕生(4月1日)市川海老蔵(38)が20年ぶりに名跡を襲名。東京・銀座の歌舞伎座で6月27日まで華やかに披露公演が行われ、連日満員の盛況となった。写真は「勘定帳」を演ずる団十郎。荒事を得意とした。



毎日新聞社



毎日新聞社

▲宮本顕治宅盗聴事件に慰謝料命令(4月22日)東京地裁が、創価学会元副会長らが組織的に共産党委員長の動向をさぐったと認定、実行者・山崎正友の独断ではないとした。被告側は控訴したが、二審で上告を断念した。

共同通信社

▲政府、商業捕鯨撤退を正式決定(4月4日)国際捕鯨委員会(IWC)への異議申し立てを撤回、昭和63年3月で幕となった。写真は7日、東京・大井埠頭に帰港した捕鯨母船「第3日新丸」甲板で、怒りの声を上げる船員。

▼タンクローリー炎上(5月6日)東京都目黒区の環状7号線野沢交差点で、スリップして横転。満載のガソリンなどが流出して爆発・炎上し、付近の住宅6棟が焼損した。同種の車は都内に約3000台あり、前年も流出事故が4件あった。



共同通信社



共同通信社

▲アイアコッカ来日(4月13日)米自動車メーカー、クライスラー社会長で、同社を再建した男として回顧録がベストセラーになっていた。17日の記者会見では「小型車戦争」生き残り策に、三菱自工との提携をあげた。



読売新聞社

▲流氷の海から生還(5月12日)出漁中の4月23日に遭難した「日東丸」乗組員3人。17日間ゴムボートで漂流の後、サハリン沖でソ連船に救助され、巡視船で稚内港に到着。同僚13人を失っているだけに、記者会見での表情も硬くなりがちだった。

▼女優・和泉雅子、北極点目前で断念(5月22日)女性初の踏破に挑んだが、約160キロを残し積雪と氷の割れ目にまばまれた。和泉は37歳。62日間のロマンに同世代主婦らが拍手。平成元年に再挑戦し、ついに成功した。



共同通信社

▼日本貨物航空第1便出発(5月8日)日航が独占していた国際線貨物輸送に初参入。ICなどの初荷を積み、成田からサンフランシスコに向かった。写真は積みこみ作業。



共同通信社



毎日新聞社

▲夕張炭鉱でガス爆発(5月17日)北海道夕張市の三菱石炭炭鉱南大夕張炭鉱所坑内で、突出したガスに引火、作業中の62人が死亡、24人が重軽傷を負った。同炭鉱所はその後事故を繰り返して、平成2年、閉山となった。

▲日本赤軍の岡本公三(37)釈放(5月20日)イスラエルとPLOが捕虜交換。テルアビブ空港乱射事件で捕まってから13年。写真は、リビアの首都トリポリでの歓迎風景。



読売新聞社

## 証言・あの日この日 西村京太郎 (54)

1月11日(金)「嫌いな言葉の一つに、「事実は小説より奇なり」がある。最近のように、グリコ・森永事件が起きて、怪人21面相が現われたりすると、かならず、この言葉が出てくる。現実がこれだけ先走ってしまうと、小説を書くのが大変でしょうと、同情する編集者もいる。何をいうかと思う」(西村京太郎「しごとの周辺」)

旅行ミステリーの第一人者・西村京太郎にとって、昭和59年3月18日のグリコ社長拉致に始まり、毒入りチョコによる企業脅迫へと展開していった「グリコ・森永事件」は気になる事件だった。「かい人21面相」を名乗る「愉快犯」の登場、警察を揶揄する脅迫文、現金10億円の要求など、「小説より面白い」劇場型犯罪が日本中の注視を集めたからだ。しかし推理小説のプロとしては、それを認めるわけにはいかない。(山崎行太郎)



読売新聞社

## 昭和60年4月

- 1月 ●日本電信電話・日本たばこ産業、発足。
- 2月 ●放送大学、授業開始。一期生一万七〇三十八人。
- 3月 ●青森県の米軍三沢基地にF16戦闘機一機を初配備。基地攻撃が主任務でサハリンをにらむ。
- 4月 ●書道家・町春草、仏の芸術文化勲章を受章。
- 5月 ●千代田市に完全ロボット化の太陽電池工場竣工。
- 6月 ●高卒女子の初任給が初めて一〇万円台と判明。
- 7月 ●ゴルフバチョフ、中距離核ミサイル凍結を表明。
- 8月 ●日本原研、トカマク型核融合実験装置(JT-60)でプラズマ生成に成功。
- 9月 ●中曽根首相、テレビで輸入促進のため「一人一〇」の外国製品購入を呼びかける。
- 10月 ●国産「お酒白書」焼酎甲類の売り上げが戦後最高、ウイスキー割減など。
- 11月 ●奈良県明日香村で推古天皇の豊浦宮跡を発掘。松原屋敷跡役会、オーナー社長の会長棚上げ人事を抜き打ち決定。鈴木会長を社長に。
- 12月 ●名古屋高裁、新幹線騒音訴訟で減速請求棄却。九六の企業がパナソニックと調査会社発表。
- 13月 ●近畿の宗教法人六四〇が所得隠しと国税局。
- 14月 ●特産品などで地域活性化必要と「過疎白書」。
- 15月 ●南アフリカ人種間結婚禁止法、背徳法の廃止発表。
- 16月 ●雪印乳業、受胎卵分割での双子生産に成功。
- 17月 ●環境庁、歴史的町並みなどアメニティ・タウン作りに金沢市など一〇市町村を指定。
- 18月 ●初の「いじめ白書」発表。前年の自殺者七人。日本IBM、VANサービスを開始と発表。
- 19月 ●ジャスコ、初のフリーコールサービス開始。
- 20月 ●日光で保護団体が鹿野郎の鹿を発見。撤去。
- 21月 ●登校拒否児童のための塾が支援ネット結成。
- 22月 ●男性用口紅や眉筆などが在庫切れ続出と新聞に。
- 23月 ●東京地裁、宮本顕治共産党委員長宅盗聴事件で創価学会元副会長・北条浩の関与を認定。
- 24月 ●自動車電話などの新電電独占を撤廃と郵政相。
- 25月 ●三菱石炭高島炭鉱所で坑内火災。一人死亡。
- 26月 ●村田通産相、週休二日制本格化検討を指示。
- 27月 ●東大法学部に初の外国人教授、と新聞に。
- 28月 ●漁網の汚染などに使われている有機錫化合物(TBO)が天然魚にも残留、と環境庁。
- 29月 ●第一回全日本トリスロロン宮古島大会開催。
- 30月 ●山下泰裕、全日本柔道九連覇(6月引退表明)。
- 31月 ●科学万博の入りでカプセルホテルへのベッド納入業者が売り掛け金回収できず倒産。

## 昭和60年5月

- 1月 ●国民年金法改正公布。基礎年金を導入。
- 2月 ●ホン・サミット開幕。仏、SDR不参加表明。
- 3月 ●大田原市の青年、高校時代の同級生の襲行で心身症になったと損害賠償を提訴。
- 4月 ●福岡県民交響楽団、万里の長城で第九演奏会。
- 5月 ●零歳児が七十九歳より一五〇万人割ると総務庁。
- 6月 ●身延山久遠寺大本堂が完成、落慶法要挙行。
- 7月 ●電波望遠鏡によりセンチ単位で日本列島の位置測定に成功、と郵政省電波研究所発表。
- 8月 ●ワイツゼッカー西独大統領、敗戦四〇年演説で独の戦争責任を率直に認める。
- 9月 ●都市の街路樹が一五年間で三倍、と新聞に。
- 10月 ●郵政省、個人年金に関する調査結果発表。理想年額一四四万円に対し現実は一四五万円。
- 11月 ●京大病院、血液型不適合妊娠の新治療法発表。
- 12月 ●第一回フープロ技能検定試験実施。
- 13月 ●福山経団連会長、中曽根首相の輸入品〇〇購入奨励は無駄づかいを強いるものと批判。
- 14月 ●外国人の指紋捺捺を回転式から平面式に改定。
- 15月 ●OA機器の端末装置などを操作する女性の三六割に妊娠異常と総評。
- 16月 ●ソ連、アルコール中毒退治の国家計画を発表。
- 17月 ●三菱南大夕張炭鉱所でガス爆発。六一人死亡。
- 18月 ●新潟県最高齢の女性、家族に迷惑と入水自殺。
- 19月 ●神戸市立中央市民病院、心臓バンク設立発表。
- 20月 ●イスラエル、日本赤軍の岡本公三を釈放。
- 21月 ●ビデオ普及率は二八割と経産省消費動向調査。
- 22月 ●北極点到達めざした和泉雅子、目前で断念。
- 23月 ●海外旅行土産の一位は洋酒と経産省調査。
- 24月 ●バングラデシュで巨大サイクロンにより大水害。四万五千人が死亡、行方不明。
- 25月 ●法務省、韓国へ出た在日韓国人二人に対し、指紋捺捺拒否を理由に再入国を不許可。
- 26月 ●小金井カントリー倶楽部、外務省主催ゴルフ大会に女性理由に森山政次官の参加を拒否。
- 27月 ●横浜で強盗強走の学生二人が刺され一人死亡。森永製菓「かい人21面相事件」の影響で三〇億円の赤字決算。
- 28月 ●南北朝鮮赤十字会談、一二年ぶりに再開。
- 29月 ●ベルギーでのサッカー欧州カップ決勝の英伊戦で両国の観客が乱闘。四〇人死。
- 30月 ●放置自転車クレーンキャンペーン推進委開催。
- 31月 ●第一回東京国際映画祭、開幕(6月9日)。





▲超大型タンカー解体(6月)高度成長の象徴も今は昔。昭和46年に登場した「日石丸」(約37万トン)が、函館のドックで17億円の鉄屑に。こまわりのさく20万トン級が中心になった。

▼豊田商事会長・永野一男、殺害(6月18日)大阪市北区の自宅に待機する報道陣の眼前で、二人の男(写真)に刺された。永野(32)は、金の詐欺商法で警察の捜索を受けたばかりだった。



- 昭和60年 6月
- 1 (土) 黒澤明監督・仲代達矢主演「乱」封切。
  - 2 (日) 能力主義支持の会社員が六割を超すと労働省。国鉄、余剰人員削減推進本部を設置。
  - 3 (月) トヨタの経常利益が初の五千億円台と判明。
  - 4 (火) 定年後も九割が再就職と労働省調査。
  - 5 (水) 西宮市、米国籍者に墓地整理を要請。
  - 6 (木) 川崎市で「エボラの証人」の信者が交通事故にあった息子への輸血を拒否し、子ども死。
  - 7 (金) 二〇カ国一〇〇人の報道写真家が全国で日本人の二四時間を撮影。一三万五〇〇〇カット。
  - 8 (土) 東洋一の吊り橋・大鳴門橋、開通。
  - 9 (日) 都内で病苦による老夫婦の心中増加と新聞に。
  - 10 (月) 郵政省、初のコンピュータ郵便サービス開始。
  - 11 (火) 十代の妊娠中絶が一〇年前より倍増と厚生省。
  - 12 (水) 千葉市で大型トレーラーと観光バスが衝突。一人死、五五人負傷。
  - 13 (木) リクルート、「週刊就職情報」誌のテレビCM「リカガエ」を放映開始。
  - 14 (金) EEC、日本製VTR関税引き上げ方針発表。
  - 15 (土) 沖縄の一坪反戦地主会、米軍基地内民有地の継続使用認定取り消しを提議。
  - 16 (日) 富士通でバンクグラフライダー。青年死。
  - 17 (月) 富士通、米に建設の磁気ディスク工場から年間二〇〇億円を逆輸入する計画を発表。
  - 18 (火) 豊田商事会長・永野一男、マスコミ監視の自宅内で二人組の男に刺殺される。
  - 19 (水) 警視庁、投資ジャーナルの幹部一人を逮捕。
  - 20 (木) 江東区のケール埋設工事で道路四〇〇m陥没。
  - 21 (金) 大阪地裁の豊田商事全財産保全命令で、全国二カ所で仮差押え、事実上の倒産に。
  - 22 (土) 日本環境学会、「核の冬フォーラム」を開催。
  - 23 (日) 堺市の日立造船で成酸ガス噴出。六人酸欠死。アイルランド上空でシーク教徒によりインド航空機爆破。三五人死。成田でも爆発事件。
  - 24 (月) 参院、女子差別撤廃条約批准を承認。
  - 25 (火) 政府、一八六〇品目の関税引き下げを決定。
  - 26 (水) 臨教審、第一次審中。個性や徳育を重視。
  - 27 (木) 上野動物園のパンダ、ホアンホンが人工授精で第一子出産。29日産死。
  - 28 (金) 女性の平均寿命が世界初の八〇歳超と厚生省。
  - 29 (土) 文部省、転校承認など「いじめ」緊急対策通知。
  - 30 (日) 日立・日本電気・富士通が磁気ディスク記憶装置の対米輸出攻撃、と新聞に。



読売新聞社

▲インドのシーク教徒が同時多発テロ(6月23日)成田空港で航空貨物が爆発、二人死亡(写真)、直後、インド航空機が大西洋上で空中爆発、乗客ら325人全員が死んだ。

▼大鳴門橋開通(6月8日)兵庫県淡路島と徳島県鳴門市を結ぶ、全長1629メートル、東洋一の吊り橋。総事業費は1000億円、通行料金は普通車で1800円だった。



共同通信社

▼米務省で土入り(6月11日)初の「ニューヨーク場所」を前に、大相撲一行がシュルツ事務局長を訪問。横綱千代の富士(中央)、露払い小錦、太刀持ち若島津。



共同通信社

## 「現場」を歩く

山本徹美

# 大阪

阪神優勝ファイバーに巻きこまれた「ケンタッキー」人形受難の跡

昭和六〇年一〇月一六日午後九時五十分、東京・神宮球場の試合で阪神タイガースは対ヤクルト戦を延長一〇回、五対五で引き分け、二年ぶりにプロ野球セントラルリーグでの優勝を決めた。阪神ファンは、興奮のきわみに達する。「朝日新聞」が報じる。「大阪市・ミナミの戎橋の群衆は千数百人にふくれ上がった。うち数十人が橋の欄干や南詰めのファストフード店の軒先によじのぼったり、シユプレヒコールを繰り返したり、裸で走る男も。自動車通行禁止の戎橋を北詰めからトラのしま模様の乗用車三台が渡り、数人が戎橋から道頓堀川に飛び込んだ」(同一七日付)

一〇月一七日午前零時頃、戎橋の南詰めにいる「ケンタッキー・フライド・チキン」の店頭においてあったカーネル・サンタースの人形めがけ、数人が「バー」の代わりや、胴上げしたらんかいなどど叫び、飛びかかった。同店に勤務中だった秋里健二氏(現・同SV代理店勤務)が回想する。

「みんな目の色が違って、異常でしたね。いくら制止しても聞いてもらえず、人形の足にうちの店員の足がからまり、危険だったのに、おかまいなしでした」固定してあった鎖が引きちぎられると人形は、運動会の「大玉送り」のように人々の頭上を手渡しで戎橋まで運ばれ、数回胴上げされた後、川に投下された。

## 今立っているのは三代目

平成九年一二月末、戎橋を訪れてみた。道頓堀川はモスグリーンに濁り、川底は見えない。サンタース人形はどうなったのか。店へ行くと、サンタの衣装を身につけていたが、これは「別人」のこと。



「川に放りこまれたのは二代目で、その後、某民放が道頓堀川にダイバーを潜らせて探索しましたが、結局、



▲昭和60年10月16日、阪神優勝の日、胴上げされる「ケンタッキー」の人形。この後、道頓堀川に投げこまれた。



## ベストセラー

# 小松左京の『首都消失』が問う「危機管理」のあり方

この年、ベストセラーの六位となった小松左京の『首都消失』は、東京への一極集中と、高度なテクノロジーに支えられた社会における「危機管理」のあり方を問いかけた作品。東京を半径三〇〇キロ、厚さ一〇〇〇メートルという巨大な雲が包みこみ、外界との交通はもとより、有線による通信も、電波も遮断されたという設定のもとにこの物語は展開する。設定は奇想天外だが、それへの対応は、きわめて現実的なシミュレーションで描かれている。雲の中に消えた東京の国家中枢をどうするか。臨時政府をどのように作るか。

## ●昭和60年のベストセラー

- 1位 『スーパーマリオブラザーズ完全攻略本』(ファミリコンコンピュータマガジン編集部/徳間書店)
- 2位 『アイコッカ』(リー・アイコッカ/ダイヤモンド社)
- 3位 『科学万博つくば'85公式ガイドブック』(国際科学技術博覧会協会編/講談社)
- 4位 『プロ野球殺られても書かずにいられない!』(板東英二/青春出版社)
- 5位 『わが家の確定申告法』(野末陳平/青春出版社)
- 6位 『首都消失(上・下)』(小松左京/徳間書店)
- 7位 『豊臣秀長(上・下)』(堺屋太一/PHP研究所)
- 8位 『ダーティペアの大逆転』(高千穂遥/早川書房)
- 9位 『あゝ人間山脈』(松山善三/潮出版社)
- 10位 『スーパーマリオブラザーズ裏ワザ大全集』(ファミ企画編/二見書房)

全国出版協会出版科学研究所

海外からの圧力をどう、かわすか。山積する問題が解決を迫る……。

一方、長年つとめた自動車会社の名門・フォードで、社長にまで昇りつめたリー・アイコッカによる告白録『アイコッカ』が、アメリカでミリオンセラーになり、日本でも翻訳紹介されるや、たちまちベストセラーに。超有名企業のトップから、ドラスティックに引きずり降ろされ、そのわずか二週間後には、ライバル会社だったクライスラーに社長として迎えられ、沈没寸前だった同社を立て直したアイコッカの、この本は処世訓であり、具体的なビジネス指南書だった。

ベストテンには入っていないが、ダン池田の『芸能界本日も反省/色ナシ』が、芸能界暴露本として、この年話題になった。バンドマスターとして、テレビの裏側をいやというほど見てきた男の、職を賭しての告白本だから、迫力があつた。特に、本来なら歌のよさや歌手の能力に与えられるはずの賞までも金まみれとなり、それが歌謡界をダメにしているという指摘は、実名を出しての具体的なものに、芸能界に衝撃を与えた。



▲『首都消失・上』(上下各700円)



▲『アイコッカ』(1800円)



▲『芸能界本日も反省/色ナシ』(850円)

## スターと名場面

# 熊野の自然と人間を描く 中上健次脚本「火まつり」

都市化や情報化が急激に進んでいく時代を、別の角度から照らし出す映画が目立った年である。中上健次の脚本で、柳町光男監督が撮った「火まつり」は、その代表的な作品だった。熊野の山で熊をする男を主人公として、大自然と人間との深いかわりを、陽光がきらめくような美しい映像の中に浮かび上がらせた。

喜劇映画で知られる森崎東

監督は「生きてるうちが花なのよ、死んだらそれまでよ」の宣言で、新境地を切り開いた。旅から旅へのストリップと、資金のよい原子力発電所専門の出稼ぎ労働者、いわゆる「原発ジブシー」の男と、粗っぽく見える恋を軸に、非行少女やじやばきさんを



▲「火まつり」で、北大路欣也(右)は大自然とともに生きる熊の役を熟演した。左は、共演した中本良太。

▶「生きてるうちが……」で主役のストリッパーを演じた倍賞美津子(左)と、「原発ジブシー」役の原田芳雄(右)。



▲「台風クラブ」で思春期の心の揺れ動きをみごとに演じて見せた、工藤夕貴(右)と三上祐一(左)。



からませて、人々のエネルギーとダメージを描き出した。

また相米慎二監督は、思春期に揺れ動く少年や少女の心をそのまま映像化したような作品、「台風クラブ」を撮って注目された。時代の雰囲気はこういう作品に残されていくのかもしれない。

この年、ほかに次のような作品が公開された。かつこ内はおもな出演者。

「さびしんぼう」(富田靖子、尾美としのり)、「それから」(松田優作、藤谷美和子)、「アマデウス」(F・マリリー、エイブラハム)、「刑事ジョン・ブック」(ハリソン・フォード)

## モノ語り'85

# 技術立国「の面目躍如!」

## 「ミニolta α-7000」CCD-V8「カラージャック」

▲一眼レフカメラにもオートフォーカス 撮影システム全体を、ボディに搭載されたマイクロコンピュータで制御する、本格的オートフォーカス一眼レフカメラ「ミニolta α-7000」が、この年2月に発売され、日本のみならず世界市場で爆発的にヒットした。あらゆる撮影意図に合わせて自動的に、しかもすばやく対応してくれるカメラで、アマチュアに大いに歓迎された。フラッシュなどのアクセサリも、「ミニolta αシステム」として同時に発売された。本体価格は8万8000円。



## ▶メモにもニューメディア時代

メモを書き残す代わりに音声で録音し、再生もいたって簡単という高性能ミニテープレコーダー「ユーゾー」(YOUZO)が、ワグナー商会から3500円で発売され人気を呼んだ。手にとってボタンを押して録音、再生はこの装置を手にとるだけという簡便さもポイントだった。なお録音時間は20秒間で、エンドレスだった。



▲子どもたちはコレクションに夢中 ロッテが「ビックリマンチョコ」を売り出したのは昭和52年だったが、この年、おまけのシールに「悪魔対天使」のシリーズが入るや人気爆発。1個30円。本体のチョコレートよりも、おまけのシールを求めて、子どもたちが買いあさった。シールのキャラクターは大きく分けて「お守り」と「天使」と「悪魔」の3種類で、それぞれにバージョンがあり、特に光るシールは絶対数が少なく、人気を集めた。

▼印鑑までカードになった! 何枚ものカードを財布に入れて持ち歩くカード時代の中、円筒形のものに決まっていた感ある印鑑がカード化され、人々のど肝を抜いた。タンゴが1枚800円で発売した「イン・カード」である。キャッシュカードとほぼ同じ大きさで厚さのカードに、印鑑が仕込まれており、抜群のアイディアが受けて、大ヒット商品になった。



▲軽小型化した家庭用ビデオ カメラ一体型のビデオテープレコーダーは、その軽量化や高性能化を期して各社から開発・発売されたが、ソニーはこの年1月に、8ミリビデオ「CCD-V8」を28万円で発売し、話題を呼んだ。画質のよさのバロメーターである画素数を従来の19万個から25万個と向上させた、新開発のCCD(固体撮像素子)を搭載し、解像度を上げることにも成功した。重量も1.97キロと手軽に持ち運べる重さだった。



## ▲持ち歩いて使える複写機

が登場 文具感覚で持ち歩いて、どこでもその場で、本や新聞などを複写できる、超小型複写機「コピージャック」が、プラスから5万8000円で発売され注目された。複写したい箇所に本体の先端をあててスライドさせると、新聞記事ほぼ1段分にあたる4センチ幅をコピーできるというものだった。

▲数分で調理し食卓へ 電子レンジが半数の家庭に普及したこの年、パッケージのままレンジに入れて加熱すると、数分ででき上がり、食卓にもそのまま出せる超便利食品「ハウス レンジグルメ」が発売された。ハウス食品工業(現・ハウス食品)からで、中華おこわ(220円)、ヨーグルト煮パン(230円)、フルーツケーキ(250円)など、7種類23品目がそろえられた。





# 松田聖子(二三)

## 神田正輝との三億円挙式で アイドルから時代の偶像に

「聖子フィーバー」二億円挙式、報道陣五〇〇人、ファンも三〇〇〇人

昭和六〇年六月二十四日の「朝日新聞」夕刊社会面は、歌手・松田聖子(二三)と俳優・神田正輝(三四)の挙式という「事件」をこう伝えた。東京都目黒区碑文谷のサレジオ教会で行われたスーパースターの挙式に、警視庁は九〇人の警備陣を繰り出した。赤坂のホテルニューオータニ二での披露宴はあますところなく、テレビで実況中継され、視聴率は三四・九割を記録した。撮影のためのヘリコプターが上空を飛びまわり、ハワイへハネムーンに出かける聖子夫妻を一〇〇人以上の報道陣が追いかけて回すというVIP顔負けの取材合戦が繰り広げられ、五年前の百恵フィーバーを上回る過熱ぶりとなったのである。

昭和五五年のデビュー以来、リリースするシングルがすべてヒットチャートのトップに躍り出る記録更新中で、CM一本の出演料が五〇〇万円とささやかれる、今をときめく超人気歌手と人気俳優の世紀の華燭の典だった。

松田聖子、本名・蒲池法子は、昭和三

七年三月一〇日、福岡県久留米市生まれ。公務員で、まじめ一筋の父・孜と、明るい母・一子との間に育った。

蒲池法子が歌手・松田聖子となる出発点は、昭和五三年四月に福岡で行われたミス・セブentyーの九州地区大会にある。ハスキーでありながら天性の甘い

歌声と、あがることを知らない一六歳とは思えない強心臓ぶりで、みごとこの大会を勝ち抜いた。

その歌声に惚れこんだレコード会社にプロ入りを勧められるや、彼女は一気に突っ走った。

昭和五五年四月一日、資生堂洗顔フォーム・エクボのコマーシャル曲「裸足の季節」で歌手デビュー。コマーシャルソングの全盛時代でもあり、またこの年三月、スーパースターアイドルであった山口百恵の引退宣言を受け、大衆の新たなヒロイン登場願望という追い風にも恵まれた聖子は「裸足の季節」(五三万枚)一曲でスターダムにのし上がった。二曲目の「青い珊瑚礁」は、夏の甲子園の入場行進曲に選ばれ、ミリオンセラーにあと一歩まで迫った。さらに、聖子を元祖とするかわい子ぶっているという意味の「ぶりっ

子」は、流行語にまでなった。やがて、九州時代からあこがれていた歌手・郷ひろみとの恋。そして、郷との破局からまもない神田正輝との婚約と結婚。したいことを素直にし、飾らずに表現する聖子の生き方は、同年代の女性たちの心をつかみ、彼女はたんなるアイドルから時代の偶像となった。

「松田聖子おんな革命」の著者・川野辺静樹氏は、松田聖子をこう評する。「『ぶりっ子』は彼女の素顔ですが、松田聖子のたんなる一面でしかない。彼女は一カ所にとどまらない貪欲な女性です。結婚も子どもも仕事も、ほしいものを素直にほしがり、すべて手に入れてしまふ。そこに、世の女性たちは自分の願望を投影してみたのです。自分の夢を実現するために一途に突き進む松田聖子のキャラクターそのものが『時代』だったのです」



▲「ぶりっ子」という流行語も生んだスーパースター、松田聖子のステージ風景。



▲郷ひろみとの訣別宣言からわずか三カ月後に、松田聖子は神田正輝との婚約を発表、この年六月二十四日、東京サレジオ教会で挙式する。しかし平成九年一月、離婚。



## 決定的瞬間

# アパルトヘイトへの怒り！ 黒人詩人の追悼集会が発端で 南ア白人地区で初の暴動発生

◀1985年10月18日、南アフリカ共和国のヨハネスバーグで、黒人による反人種差別の暴動が、初めて白人地域に波及した。

一九八五年一〇月一八日、南アフリカ共和国最大の都市ヨハネスバーグの中心街は、大混乱の中にあった。驚愕して逃げるネクタイ姿の白人。男は白人しかないはずのこの地域で、黒人に取り囲まれ、恐怖に駆られている。今までは考えられないことであったが、これが一九八五年以降の南アの新しい現実となったのだ。

この日、南アでは著名な黒人詩人、ベンジャミン・モロイセ（三三）の死刑が執行された。彼は一九六一年から実施されたアパルトヘイト（人種隔離策）に抵抗する最大組織ANC（アフリカ民族会議）の元メンバーで、ANCの指令によって黒人の警察官を殺害した容疑で一九八二年に逮捕され、死刑判決を受けていた。しかし、一貫して無実を主張する。

EC諸国や国連もこの事件に関心をもち、モロイセの死刑執行の延期を求めている。にもかかわらずP・W・ボタ大統領（六九）は助命嘆願を却下し、一八日午前七時、ついに刑が執行されたのだ。

▼1990年2月11日、ANCのネルソン・マンデラが28年ぶりに釈放された。写真はケープタウンの刑務所を出たマンデラとウィニー夫人。



同日の昼には、モロイセの追悼集会がヨハネスバーグの中心部にある南ア教会評議会ビルで開かれ、約三〇〇〇人の黒人が路上にあふれ出た。市の中心地域は、許可なく黒人が立ち入ってはけない所とされている。警察は解散を命じ、警察犬を連れた一隊が教会評議会のビルの中に突入した。この騒ぎで黒人一人が射殺され、警官二人が負傷。追われた人々は商店街に移動し、警官に対して投石を始めたのだ。

白人地区で暴動が起きるのは、南アでは初めての出来事だった。それだけに、事件が白人社会に与えた影響は深刻なものがあった。

一九八五年、アパルトヘイトに世界の

非難が高まってくる中で、南ア政府は四月に「離婚禁止法」「背徳法」を廃止し、人種間相互の恋愛や結婚が許されるようになった。ボタ大統領がこのような政策を実行したのは、先進国の経済封鎖が経済に深刻な影響を与え始めたという背景がある。

政府は前年、オランダ移民と原住民（後には東南アジアからの奴隷）との混血によって生まれたカラードと、インド系南ア人を議会に参加させる「人種別三院制議会」を発足させていたが、人口の約七割を占める黒人にはあいかわらず政治的参加が許されていなかった。

アパルトヘイトの本質でない部分では妥協を重ねつつ、黒人に対しては厳しく隔離政策を継続実行していくという姿勢は、むしろ黒人社会からの反発を強める結果となったのは当然のことと言える。そして、モロイセの処刑で、それが爆発したのだ。

この年以降、白人社会と黒人との闘争は、テロをともなう暴動となって南ア全土に広がっていった。翌一九八六年には全土に非常事態宣言が発せられたが、事態は沈静化せず、大規模なストライキが頻発。そして、ついに一九八九年、ボタ大統領は辞任し、フレデリック・W・デ・クラーク首相のもとでアパルトヘイトの廃止が決まる。

一九九〇年二月一日、黒人解放運動の指導者であったネルソン・マンデラが、二八年におよぶ獄中生活から解放された時、ケープタウン市役所前には、一〇万人の国民が集まっていた。あらゆる苦難に耐え、伝説的存在ともなっていた老闘士を、ひと目見るためである。



ジョン・ハートマン/WNP



# 人気絵はがきは「種時く人」 四〇万人以上が詰めかけた 「ゴッホ展」の数々の「難題」

◀「ゴッホ展」は10月12日から12月8日まで、東京・国立西洋美術館で開催され、観客は40万人を超えた。

東京新聞社

昭和六〇年一〇月一二日から約二カ月にわたり、東京・上野の国立西洋美術館で「ゴッホ展」が開催された。日本ではゴッホの展覧会は、これまでに昭和三三

年と五一年の二回開かれ、ともに大成功をおさめたが、今回も入場者が四〇万人を超え、この年の最高を記録。日本人のゴッホびいきは相変わらずだった。

前二回の「ゴッホ展」は、ひとつの美術館からほとんどの作品を借り出すといった「出展帳」だったが、今回の「ゴッホ展」は、オランダのフィンセント・ファン・ゴッホ美術館、国立クレラー・ミ

ュラー美術館といったゴッホ作品の至宝を所蔵している美術館をはじめ、世界各地の美術館や個人所蔵の作品も集めた「夢の展覧会」となったのである。

展示された作品は「ガッシー博士の肖像」「向日葵」などの油彩画五五五点、「煙を撮る二人の農婦」「種時く人（ミレーによる）」など水彩・素描四〇点、「馬鈴薯を食べる人々」「果樹園で働く人」などの版画四四点のほかに、ゴーギャンへの手紙、シニャックへの手紙二点の総計一〇一点が出品された。国別に見ると、オランダの前記の二つの美術館から三五五

それ以外はオランダ一七点、アメリカ一四点、スイス一〇点、フランス七点、ベルギーとイギリスが三三点、ソ連とブラジルが二点、西ドイツとノルウェーが一点、そして日本から六六六点の作品が集められた。

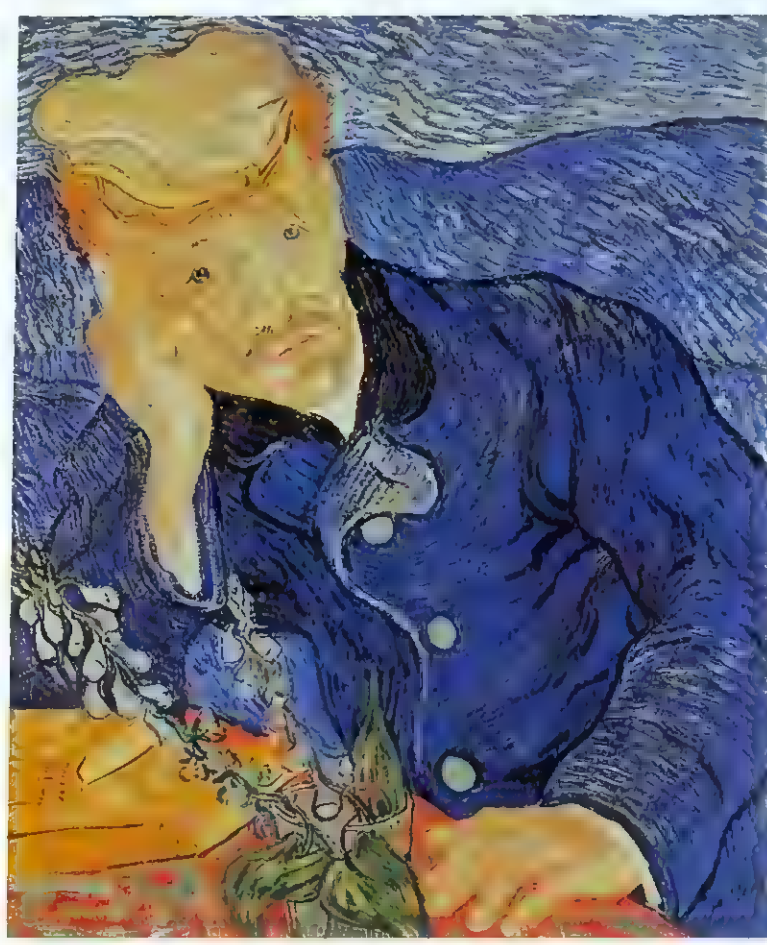
これまで世界各国で何度か「ゴッホ展」が企画されてきたが、大規模な展覧会は稀だった。ところが今回の日本展では、主催者の国立西洋美術館、東京新聞社、中部日本放送が三年にわたる粘り強い交渉を続けた結果、なんとか開幕にこぎつけたのだった。

所蔵者への出品打診に対し、「NOT」とか「SORRY」という返事が返ってくる。当時、「東京新聞」事業局長だった夏目十郎は記している。

「各美術館とも、その館にとってゴッホがちな回顧展とは違った新鮮な印象を、所蔵者たちに与えたのであろう。大きな説得力を持ったのである。

難題はその後もついてまわった。所蔵者からは、素描一点でも運搬の往復に随行者をつけることを求められるなど、保険や運搬、関係者の招待、海外交渉費などを総計すると、経費は三億七〇〇万円にものぼり、四〇万人の入場者があっても黒字にはならなかった。

しかし、こうした努力のいかもあってか、美術専門家の間で高い評価を得た。「こんどのゴッホ展ではこの頃なかった感銘の深さに胸をつかれ、言葉もなく会場を出た」という日本画家の高山辰雄（七三）やゴッホの描くミレーやドラク



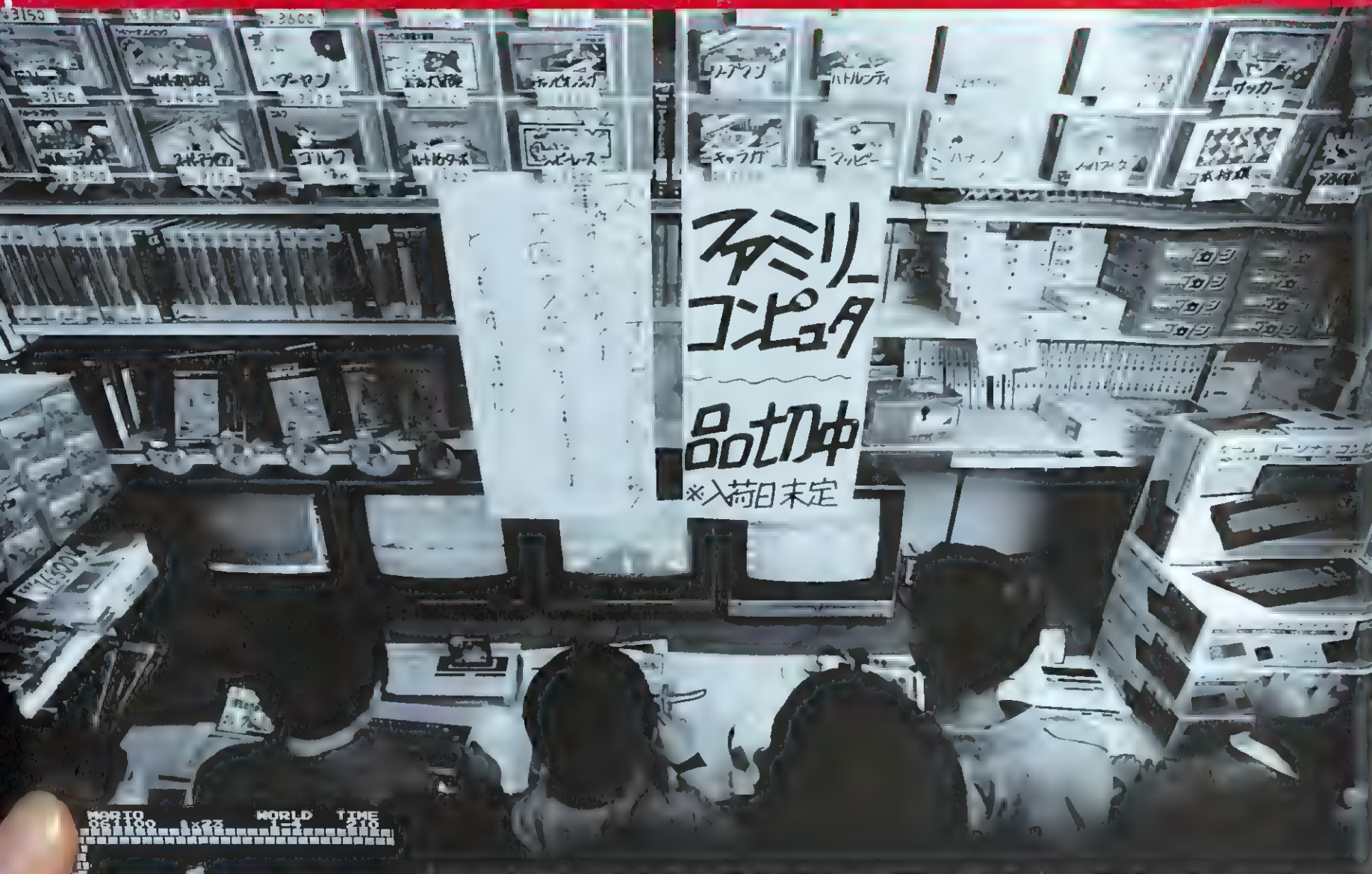
◀ガッシー博士の肖像。一八九〇年六月制作。油彩、六六×五七センチ。ガッシー博士は神経科の医師。ゴッホにとって、医師である以上に友人であり、ゴッホの作品のよき理解者でもあった。



▶花咲く梅の木（広重による）。一八八七年制作。油彩、五五×四六センチ。ゴッホは日本の浮世絵に興味を持ち、弟のテオとともに四〇〇点以上を集めた。この作品は、広重の「名所江戸百景」から、梅屋舗を模写したもの。文字は、別の版画から写し取っている。

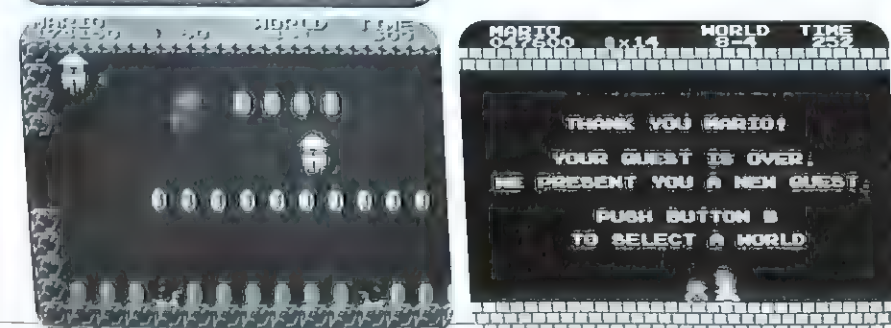


# 618万本販売でファミコンブームの起爆剤に 赤い帽子に青い服の“ヒーロー”登場 「スーパーマリオ」大ブレイク!



▲東京・新宿のヨドバシカメラ店頭風景。人気ゲームソフトはなかなか手に入らず、ファミコン本体も品切れ状態。 (朝日新聞社)

●3点とも「スーパーマリオ」の画面。左は敵と戦う場面、左下はコインを集めている場面。下は32の場面を攻略して初めて到達できるエンディング。マリオの右にいるのがピーチ姫。 ©1985 Nintendo



「スーパーマリオ」人気  
ファミコン販売に貢献  
クリッと目した目のヒゲ面に赤い帽子をかぶり、赤いシャツに青いオーバーオールを着た、頭身半の「マリオ」の登場に全国の子どもたちは熱狂した。

さらわれた姫を助けるために敵と闘いながら八つの世界を旅する、主人公の冒険を体験できるという画期的なテレビゲームが、発売とともに若者や子どもたちの心をとらえ、爆発的な人気を呼んだ。このゲームのヒットにより任天堂の「ファミコン」は急激に売り上げを伸ばし「ファミコンブーム」の起爆剤となった。

## 資生堂企業資料館

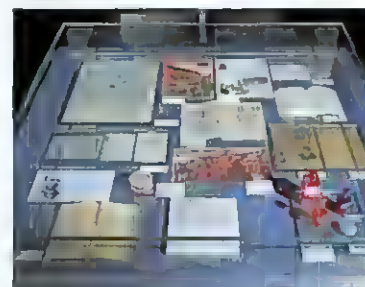
静岡・掛川市

商品二万点、ポスターなど三万点……  
日本の化粧品品の近・現代史

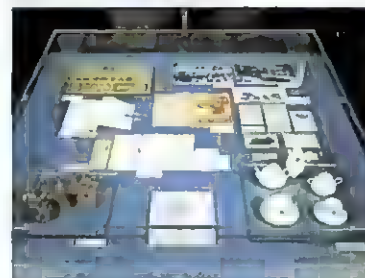


▲アートハウスにすらりと並べられた、資生堂のポスター。懐かしい気分になせられる。

▼右手前に「オイデルミン」、左手前に「歯磨石鹸」が見える。ともに明治時代の商品である。



▼明治35年に銀座にオープンした資生堂パーラーの展示ケース。文化人も愛用した当時の食器など。



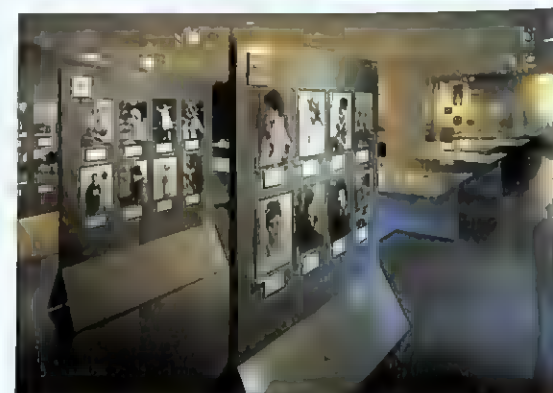
出された化粧品  
のケースなど、  
全体像がつかみ  
にくいほどバラ  
エティに富んで  
いる。  
多様な展開を  
してきた資生堂  
の、というより

「資生堂企業資料館」は平成四年、創業一二〇年を記念して開設された企業博物館である。一、二階合わせて展示面積五五〇平方メートルのゆったりとした空間に、二〇年という長い時間と、これからの未来へに漂っている。一階には一六のケースに分けて展示された二二〇年があり、二階の特別展示室には「サクセスフル・エイジング」つまり上手に年齢をとる方法についての、資生堂の現在の考えと未来への展望が示されているのである。

まず一階には、テーマ別に展示ケースが並べられており、それぞれのケースのポイント、イヤホンガイドが丁寧に説明してくれる。

西洋風調剤薬局としてスタートした資生堂が、初めて世に出した化粧品である、明治三〇年発売の「オイデルミン」が展示されている。

示されているケースをはじめとして、大正五年に意匠部が発足した当時の包装紙や、泉鏡花の本の装丁でも有名な小村雪岱が、資生堂意匠部に所属していた時に描いたイラストなどを集めたケース、大正一一年に、今で言う企業メセナ活動の一環として刊行された雑誌「オヒサマ」が納められたケース、昭和二二年に発足した花椿会の、会員に配られた、西陣の帯留などの記念品を展示したケース、さらに昭和三〇年代後半から売り出された「MG5」など男性化粧品をテーマにしたケースや、昭和三九年の「禪」という名の香水を皮切りに海外に向けて売り出された化粧品



▲1階フロア。テーマ別の展示ケースの脇(写真では左側)では、女性のお洒落史がビジュアルに展開されている。

日本の化粧品品の近・現代史にじかに触れることができるわけで、一階のフロア全体が、静かだがエキサイティングな空間となっているのである。

この資料館の三階、四階には収蔵庫がある。展示品と合わせると、商品が一萬点、ポスターなど販促用品が三萬点、「花椿」などの印刷物が一萬数千点、資料写真が一萬点。実に膨大なコレクションである。化粧品関係者のみならず、部外者にとっても、大変興味深いものであり、端覗きすべからざる資料館と云うべきだ。

また、この資料館と同じ敷地内に「資生堂アートハウス」がある。ここには、資生堂が大正八年に開設した資生堂ギャラリーゆかりのアーティストの作品が収蔵され、その一部が企画展として展示されているほか、ポスターやパッケージなどの宣伝美術作品がずらりと並べられている。テレビCMのビデオを観ることも可能だ。たとえば、昭和六一年に「カモメ」だけ放映された、「遠野物語」をテーマに宮沢りえが着物で登場する企業コマースアルも、自由に観ることができる。全体としてファンタジックな空間になっているが、そういえば、資料館にもアートハウスにも、あまい香りが漂っていて、積み重なった時間の中に入っていく非日常的な感覚を心地よく刺激してくれた。

●資生堂企業資料館  
静岡県掛川市下保七五一一  
電話〇五三七一一六二二二  
JR東海道線掛川駅からタクシーで五分  
または徒歩で二五分  
開館時間 一〇時～一七時  
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、夏季(八月中旬)、年末年始  
入館料 無料



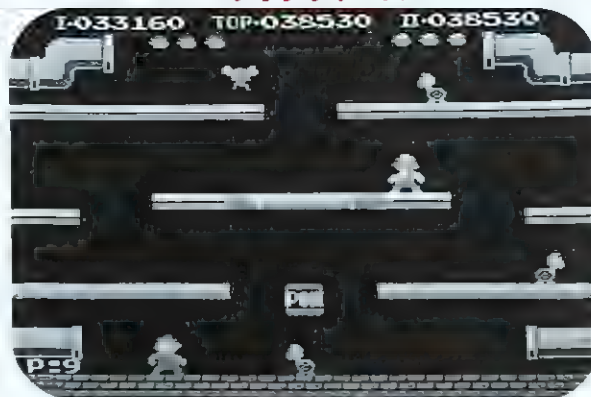
## 当時の人気ファミコンソフト

### イー・アル・カンフー



▲主人公が、火吹き男、手裏剣少女などを相手に、次々にカンフー試合を行うという設定。技を繰り出すタイミングがむずかしく、うまく決まった時の爽快感で人気。 ●コナミ

### マリオブラザーズ



▲「スーパーマリオ」のルーツで、主人公のマリオや敵のキャラクターであるカメなどおなじみのメンバー。スーパーマリオに比べてかなりシンプルだが、人気があった。 ●1983 Nintendo

### ベースボール



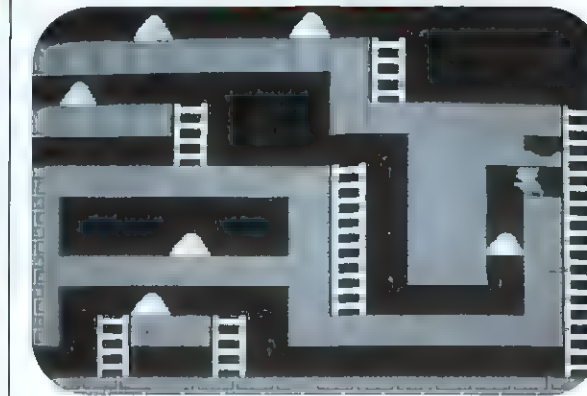
▲初期のファミコンゲームの大ヒット作。投手の球種も4種類あり、攻撃側もバントやスチールなどができ、複雑な野球のプレーが楽しめた。 ●1985 Nintendo

### ツインビー



▲スピーディなシューティングゲームで、空中や地上から次々に出現する敵を撃破しながら進んでいく。敵キャラクターも、食器や野菜などを模したユニークなもの。 ●コナミ

### ロードランナー



▲口ホットの攻撃をかわしながら、迷宮におかれた金塊を集めるという、アクションパズルゲーム。 ●Hudson Soft Co. Ltd. UNDER LICENSE FROM BRODERBUND SOFTWARE INC.

### ゼビウス



▲この頃のアクションゲームの代表的な作品で、敵キャラクターの種類と数の多さ、あちこちにひそんでいる隠れキャラクターなどユニークな設定で、人気があった。 ●ナムコ

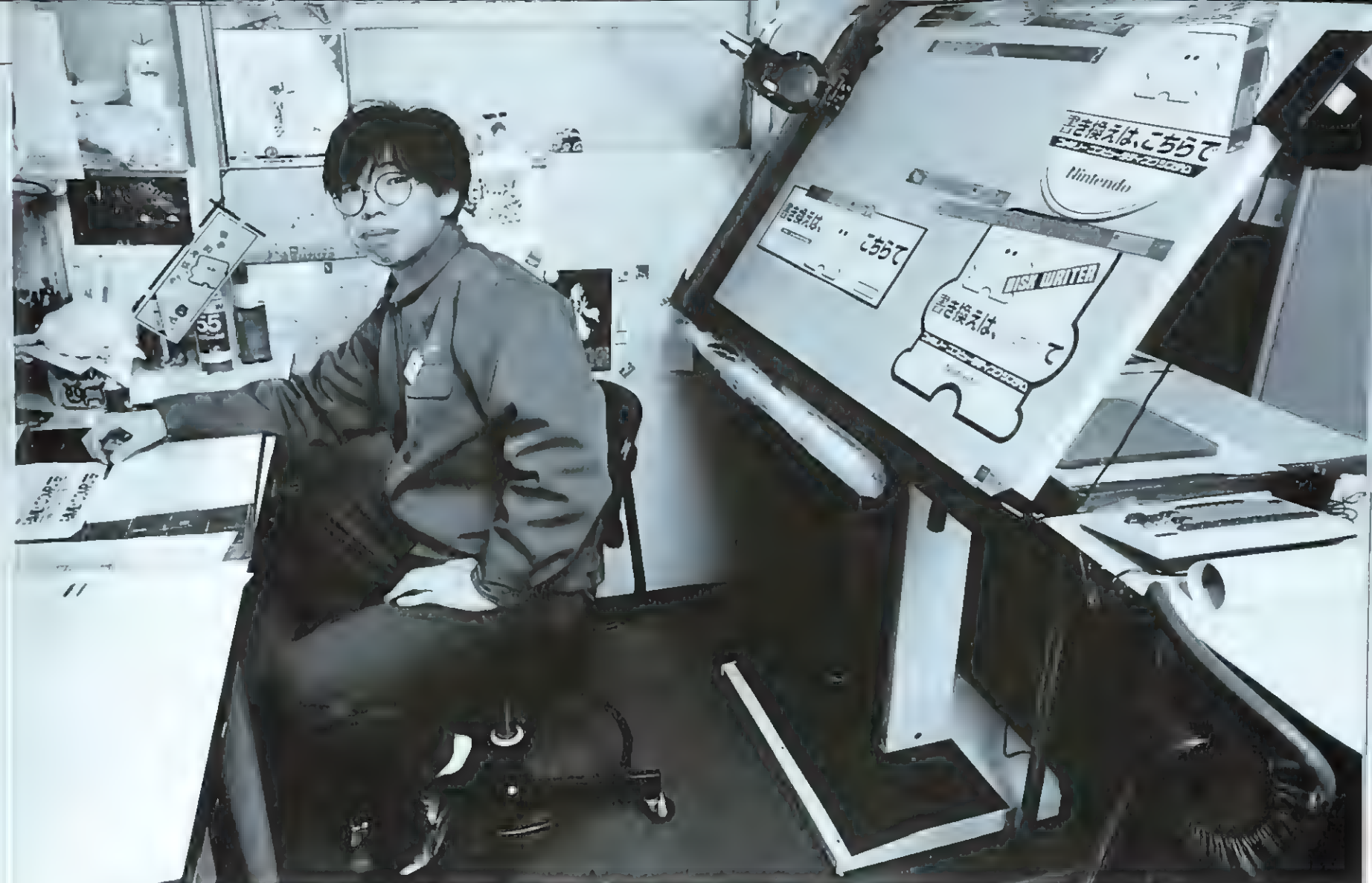
「ファミコン」は一万四八〇〇円という圧倒的な低価格で、しかもほかのゲーム機と比べ遜色のない機能を持っていた。任天堂では、「ファミコン」を「子どもたちの手の届く価格」におさえる戦略をとったのだ。つまり、ハードの利益を圧縮し、ソフトを次々と売り出すことで利益を得ようと考えたのだ。この戦略は

みごとにあたり、「ファミコン」は一人勝ちとなった。当時、「スーパーマリオ」を開発した任天堂情報開発部の宮本茂部長は話す。「『スーパーマリオ』には、それまでつちかかったノウハウをすべて投入しました。『これは売れる』と確信しましたが、まさかあれほどまでは……。ヒットの要

因はさまざまですが、プレイヤーの手ごたえを大事にしたことが大きかったのでしょう。ダイレクトに感じる臨場感が、新鮮な感動や面白さとして受け入れられたのではないのでしょうか。マリオ人気は過熱し、「攻略本」は軽く二〇万部を突破した。また、ブームはいくつかの「暴走」事件も生んだ。小

中学生が万引きしたファミコンやソフトを、盗品と知りながら売りさばっていた業者が摘発されたのもそのひとつだ。群馬県はその業者は、盗品を持ちこんだと思われる八歳から一七歳までの子どもたち、の三三〇人分のリストを持っており、世間に大きなショックを与えた。また、海賊版ソフトも多数出まわった。

そうした脱線の一つで、「スーパーマリオ」のインパクトは、ゲームの世界だけにとどまらなかった。次々とマリオキャラクターの子ども向け商品が作られたのである。運動靴、椅子、ノート、下敷き、清涼飲料、菓子、はては、ふりかけや毛糸にいたるまで、マリオキャラクターは氾濫した。そして、世を風靡したデイスコの「マハラジャ」でも、マリオのテーマ曲がデイスコ調にアレンジされ、若者の人気をさらっていった。マリオが発売されてから、子どもの世界にファミコンは完全に定着していった。現在「ゲームボーイ」は、受験用ソフトが相次ぎ発売されるなど、学習機器としても活用されている。そして、花札とトランプの会社「だった任天堂は、今や国際的企業として知られている。平成一〇年三月期の売り上げは、米国向け輸出の好調にも支えられ、四一億一〇〇〇億円に達すると見ま



▲任天堂のソフト開発にあたる部署。社員は若い人が多く、デスク周辺には、さまざまなものがおかれている。

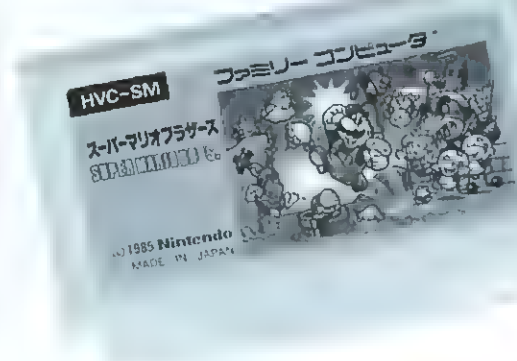
昭和六〇年九月、玩具メーカー・任天堂の家庭用ゲーム機「ファミコン」コンピュータ（以下、「ファミコン」）のゲームソフトとして発売された「スーパーマリオブラザーズ」は、発売と同時に口コミで評判が伝わり、一気に圧倒的な人気を誇るゲームになった。ゲームの内容は、さらわれたピーチ姫を助けるため、八つの世界をまたにかけてマリオが冒険の旅を繰り広げるというもの。その中でマリオは「敵」と闘っていく。

マリオは、プレー中に三回失敗するとゲームオーバーとなる。しかしマリオが画面上にあるコインなどを集めると、その数に応じて何回でも復活し、プレーを続けることができる。また、秘密の部屋や隠れキャラクターなどもあり、当時としては画期的なゲームだった。このゲームの魅力は、マリオのキャラクターと「繰り返し遊んでも飽きない」点にあった。いつしかゲームの世界に没頭してしまうのが「マリオ」の最大の魅力だった。

そして、ゲームの難易度が絶妙だったこともヒットの大きな要因となった。簡単なゲームではプレイヤーはすぐに飽きてしまう。しかしむずかしくても、そつばを向かってしまふ。簡単すぎず、むずかしすぎないこと。「スーパーマリオ」はこれをうまく満たしていたのだ。「このゲームはすごいぞ」という評判とともに、「スーパーマリオブラザーズ」は売れに売れた。デパートの玩具売り場などには「スーパーマリオ」を買い求める子どもたちが殺到し、半年で三五五万本を売りきった。一日平均二万本という

## 大ヒットをした要因はプレーヤーの手ごたえ

「スーパーマリオ」による「ファミコン」ブームは、そのまま日本の家庭用テレビゲーム市場の拡大の歴史であった。任天堂の「ファミコン」以前にも、エポック、バンダイ、トミー、タカラなどの玩具メーカーが家庭用テレビゲーム機を販売していたが、さほどのヒットにはならなかった。三万六千円と価格が高かったせいでもあった。遅れて参入した



▲「スーパーマリオブラザーズ」のセット。定価4900円。昭和60年9月23日に発売され、半年で355万本が売れた。任天堂





証言・あの日この日  
村崎芙蓉子 (49)

6月7日(金) 〈三時頃、私は口紅だけをぐいと引きなおし、バッグを抱えてエレベーターに飛び乗った。東京は新宿西口の、都庁も引っ越してこようという新都心。すでに何本か建っている超高層ビルの中の一つに私の勤める診療所がある 私は、ビルの外のまぶしい光の中を、ヒールの音も高らかに駅に向かって歩きだした〉(村崎芙蓉子「カイワレ族の偏差値日記」)

新都心・新宿の超高層ビルの診療所に勤務する医師・村崎芙蓉子は、この日、浮き浮き気分で息子の中学校へ。息子もいよいよ中3、初めての進路相談会。しかし偏差値が50と告げられガックリ。それから母と子の、必死の受験戦争が始まる。偏差値や内申書による進路指導には批判が多かった。この頃、中学校で、いじめ自殺が頻発したが、これも偏差値教育の影響か。(山崎行太郎)

▼南ア政権、デモに強権発動(8月28日)人種差別反対組織UDFが計画した、服役中の黒人指導者マンデラの「釈放要求大行進」を、ブサーク牧師ら幹部の逮捕、治安部隊によるむち打ちなどで壊滅させた。



望月誠

▼国産ワインも危険(8月29日)前月の有毒ワイン輸入騒ぎに続き、国産品安全宣言を出したマンスワイン社製品からも同じ有毒物質が検出された。同社は、輸入ワインを混入した「国産ワイン」を販売していた。写真は都の検査。



共同通信社

▶日本人宇宙士候補(8月7日)宇宙開発事業団が全国533人の応募者の中から、日本人初のスペースシャトル搭乗科学技術者候補を選抜。写真右から毛利衛(37)、内藤千秋(33)、土井隆雄(30)の3人。

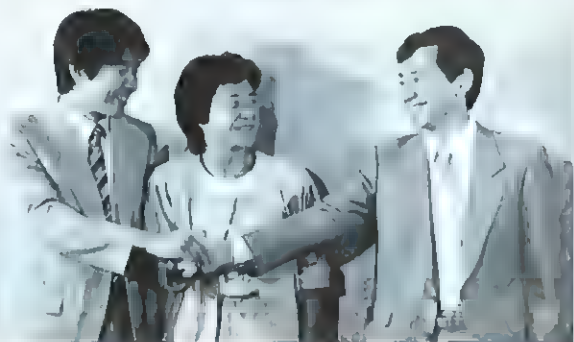
AP/WWP

▲アイドル、クラッシュ・ギャルズ(8月22日)東京・日本武道館で、ライオネス飛鳥(左・22)と長与千種(20)が新曲「東京爆発娘」を熱唱。二人は人気急上昇の女子プロレス界をリードするWWWA世界タッグチャンピオンだった。



読売新聞社

▶富山市で連続真夏日記録(8月27日)この日最高気温が34.4度となり、最高気温30度以上の真夏日が7月22日から連続37日となった。これは昭和14年の富山気象台開設以来のこと。この記録は9月1日まで続き、深刻な水不足を招いた。



時事通信社



ロイター サン・レノット

▲ニュージーランドで「虹の戦士号」爆沈(7月10日)フランスの核実験阻止を掲げる、国際環境保護団体グリーンピースの抗議船。乗員一人が死亡、仏情報機関の計画的爆破工作と判明した。写真は同船の引揚げ。



読売新聞社

▶近鉄のエース・鈴木啓示引退(7月11日)プロ野球歴代4位の317勝(238敗)を残し、シーズン途中でユニフォームを脱いだ。37歳、育英高卒。無四球試合78は日本記録。背番号1は永久欠番になった。



朝日新聞社

▲徳島ラジオ商殺し事件に無罪(7月9日)初の死後再審に徳島地裁が判決。故・富士茂子さんは昭和28年に夫殺しの罪を問われ、54年に69歳で亡くなるまで無実を叫び続けていた。

▶金閣寺など拝観停止(7月15日)京都市が10日から実施した、寺社拝観料から大人50円、小人30円を徴収する古都保存協力税への抗議行動。昭和62年に税の廃止が決定。



朝日新聞社

▲地滑り、老人ホームつぶす(7月26日)長野市善光寺近くの地附山南斜面が崩れ、麓の特別養護老人ホーム「松寿荘」と湯谷団地59戸が土砂に埋まり、逃げ遅れた老人ら26人が死亡した。避難勧告は出ていなかった。



読売新聞社

昭和60年7月

- 1日 ●タイエー、生活情報誌「オレン」へ、音楽教科書から文部省唱歌消滅と批判。厚生省、非加熱処理による血友病ウイルス感染を警戒する。
- 2日 ●政府、「長寿社会対策関係閣僚会議」設置決定。
- 3日 ●広島市議会、核兵器廃絶平和都市宣言を可決。
- 4日 ●米の生産量が、四年以上初の下落と農水省。
- 5日 ●和歌山市で暴走族に食材投げつけ二人死傷。
- 6日 ●川崎市に自閉症児訓練施設、初雁の養育所。
- 7日 ●一七歳のボリス・ベッカー、全英テニス優勝。
- 8日 ●文部省、共通一次を五教科五科目に削減。
- 9日 ●徳島ラジオ商殺し事件で故・富士茂子に無罪判決。検察側は「証拠不十分」を主張。
- 10日 ●京都府、古都保存協力税を実施。
- 11日 ●国鉄能登線、急行脱線、転落、七人死亡。
- 12日 ●金・医道審議会、過剰診療、不正請求を行った医師二人の処分を初めて厚相に答申。
- 13日 ●英米でアフリカの飢饉救済コンサート、ライオネル・ロビンソン、ハカに衛星中継。
- 14日 ●長野県上村の農業後継者と東京の女性が集団自決(「めぐりあいの会」)を開く。
- 15日 ●ナイロビで国連婦人の十年世界婦人会議開催。
- 16日 ●住友金属、愛知・岐阜で高品位の金鉱脈に到達。
- 17日 ●最高裁、五八年総選挙の定数格差に違憲判決。
- 18日 ●財団法人・日本テクノマート発足。世界初の先端技術と関連情報の取引市場をめざす。
- 19日 ●金・屋久島南方にベトナム難民船、一六人死傷。
- 20日 ●南アで反アパルトヘイト蜂起激化、非常事態宣言(26日、国連安保理が経済制裁を決議)。
- 21日 ●日本への原発投下には軍事より科学者が熱心だったと、米「ワシントン・ポスト」紙報道。
- 22日 ●臨時行審、民間活力推進などを首相に答申。
- 23日 ●トヨタ、北米への小型車生産工場建設を決定。
- 24日 ●西神から有馬島へフェリー輸送と判明。
- 25日 ●自治省、高松市の一五三町村を公表。
- 26日 ●金・長野市で大規模地滑り、二六人死傷。
- 27日 ●主婦の夏休み旅行プランは、平均五日、予算は一〇万円と、東海銀行調査。
- 28日 ●中国帰国看護士協議会、発足。
- 29日 ●ゴルバチョフ、一方的核実験停止を声明。
- 30日 ●政府、市場開放行動計画の骨格を決定。
- 31日 ●水・数え年一〇歳の五十嵐貴一、富士山に登頂。

昭和60年8月

- 1日 ●都市計画審、今世紀中の公園面積増を答申。
- 2日 ●金・全国水環境保全市町村連絡協議会、発足。
- 3日 ●中シナ海海底で戦艦「大和」の艦体を確認。
- 4日 ●「ビルが有利」と、都心でのマンション建設が激減、新聞に。
- 5日 ●堀江謙一、ソーラーボートでハワイから帰還。
- 6日 ●金・南太平洋諸国首脳会議、南太平洋非核地帯設置条約を採択。
- 7日 ●水・宇宙開発事業団、日本人宇宙飛行士一人決定。
- 8日 ●木・大泉観光、都心の国有地を公示の二倍で落札。
- 9日 ●金・商取引禁止のブラジルの猿ライオンタマリンを北海道のスパルパークが公開中と判明。
- 10日 ●土・服部道子、日本人初の全米アマゴルフ優勝。
- 11日 ●「生活に満足は七割で過去最高」と総理府調査。
- 12日 ●群馬県、御巣鷹山に日航機墜落。五一人死亡。
- 13日 ●火・元元船主、負債五二〇億円で戦後最大(12日、オーナーの河本敏夫が特命相を辞任)。
- 14日 ●水・通産省、青森テクノポリス開発計画を承認。
- 15日 ●木・中曽根首相、戦後初めて靖国神社に公式参拝(10月18日、中国の批判を受け参拝を中止)。
- 16日 ●金・島根県、荒神合遺跡で銅鐸と銅矛を同時発掘。
- 17日 ●土・松本市で高二生が職務質問の警官を刺殺。
- 18日 ●日・アジア初の一回国際アニメーションフェスティバル、広島市で開催。
- 19日 ●月・日本隊が揚子江水源のグランドン山初登頂。
- 20日 ●火・文部省、学校内に和室設置を全国に推進。
- 21日 ●水・大宮市で女子学生が太りすぎに悩む自殺。
- 22日 ●木・小・中・高校に電算機を積極導入と文部省。上場企業名の「割」がカタカナ使用と判明。
- 23日 ●金・工業技術院、電算機の性能を向上する新半導体素子、チャップ超格子素子を開発と発表。
- 24日 ●土・「ハーシアート」神戸大公開展(9月4日)。
- 25日 ●日・東南アジア初の不法就労者は二年の二、五倍と法務省調査。
- 26日 ●月・中央高裁、台湾人元日官の国庫油料引当金没収決定。
- 27日 ●火・八月まで「八カ月中絶禁煙」大企業庁発表。
- 28日 ●水・東証、金融対外開放へ会費一〇社増を決定。
- 29日 ●木・日本史の学習漫画が小中学校教科書に、新聞に。
- 30日 ●金・ココム製靴品輸出の商社に輸出禁止処分。
- 31日 ●土・小林明子歌「恋におちて、元元・金曜日」の妻たちへ血の主題歌、年間一上げ一位。女子労働者が家事労働者上回る、労働省発表。



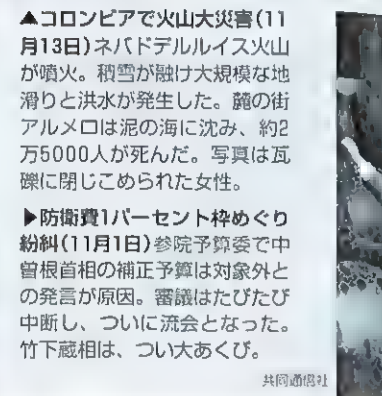




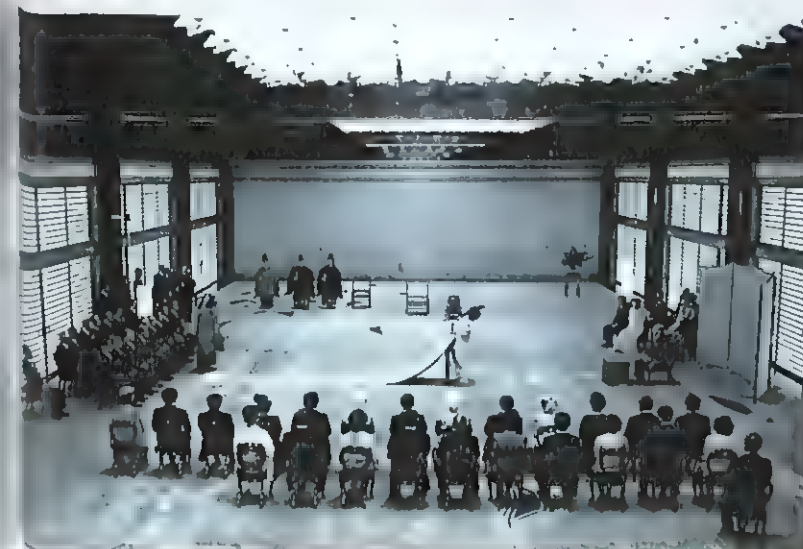


▲6年半ぶり米ソ首脳会談(11月19日)スイスのジュネーブで、レーガン(右)とゴルバチョフが軍縮促進や対話の強化で一致。しかし戦略防衛構想(SDI)、アフガン紛争問題では互いに譲らなかった。

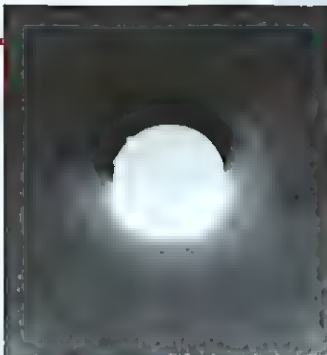
▼法隆寺「昭和太修理」完成(11月4日)1300年ぶり、半世紀におよんだ化粧直しを祝って、華やかに「慶讃法要」が営まれた。写真は、夢殿前に組み立てられた重文の舞台で演じられた、元禄以来という舞楽奉納。



▼早大希望の桑田真澄投手、一転巨人入り(11月20日)プロ野球のドラフト会議で、PL学園のKKコンビに残酷な結果。巨人の指名を待っていた清原和博は結局、西武が交渉権を獲得した。

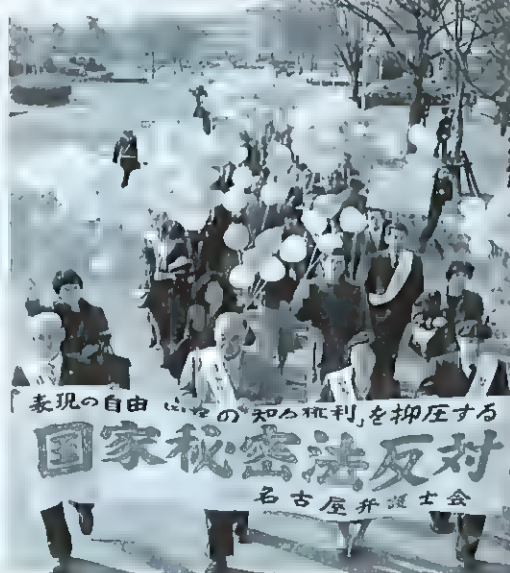


- 昭和60年11月
- 1(金)全日空、ジャンボ機にスパーシートを設備
  - 2(土)コンビニ「タコ」ソフトを開発して、全国のコンビニに展開
  - 3(日)黒澤明、映画界で初めて文化勲章受章
  - 4(月)大塚製薬、昭和九年創業の昭和製菓を吸収合併
  - 5(火)日本のデザイナー31人による初の「86春夏東京コレクション」開催
  - 6(水)コロンビアで左翼ゲリラが最多数占拠(7日、政府軍突入し長官ら百余人死亡)
  - 7(木)大企業「万社の所得が初めて二〇兆円突破」
  - 8(金)大卒女子の就職率は七二・四割で、昭和二十九年以来の高率と文部省
  - 9(土)自然海岸は総海岸線の四六割と環境庁調査
  - 10(日)三〇〇〇代の主婦にアルコール依存症が増加と新聞
  - 11(月)越谷市で日本初の簡便体外受精の男児出産
  - 12(火)厚生省、献血血液のエイズ検査不要と見解
  - 13(水)「コロン」で今世紀最大級の火山噴火被害
  - 14(木)プロ野球選手会、労働組合の資格を取得
  - 15(金)全労協、一年後に連合体に移行と決定
  - 16(土)東宝百貨店、伊藤忠と共同開発した金地金と交換できる「ゴールドギフト券」を発表
  - 17(日)衆院格差が最大四・六四倍に拡大と自治省
  - 18(月)若手大、血友病患者が前月エイズ死と発表
  - 19(火)米ソ首脳会談、六年半ぶりに開催
  - 20(水)プロ野球ドラフト会議で桑田は巨人、清原は西武が交渉権獲得
  - 21(木)第一回ゲートボール全日本選手権、開催
  - 22(金)「国連婦人の十年」日本大会、開催
  - 23(土)東工大グループ、金属と絶縁体による高性能トランジスタ理論を発表
  - 24(日)シンボリドルフ、ジャパンC制し六冠馬に
  - 25(月)五〇〇〇代の呼称募集で「実年」が賞賛
  - 26(火)大蔵省、不良融資五〇〇〇億円が判明した平和相銀に経営改善指導と決定
  - 27(水)年二以上の地盤沈下面積が四割増と環境庁
  - 28(木)イトヨーカ堂グループ、百貨店業界に進出、春日部市で二号店が開業
  - 29(金)中核派、国鉄へ同時多発ゲリラ
  - 30(土)NHK、文字多重放送を開始
  - 31(日)「台を廃止するよう業界に警告」



▲天王星のリング、鮮明に(12月7日)米惑星探査機「ボイジャー2号」が撮影。初めて可視光線ととらえられた。天王星は地球から距離が遠く、謎の部分が多かった。

▲フィリピンの反マルコス派団結(12月11日)ギリギリの調整のすえ、コラソン・アキノ(左・52)にラウル民主野党連合総裁(中央)が協力を約束、翌年2月の大統領選挙の正副候補に決定した。

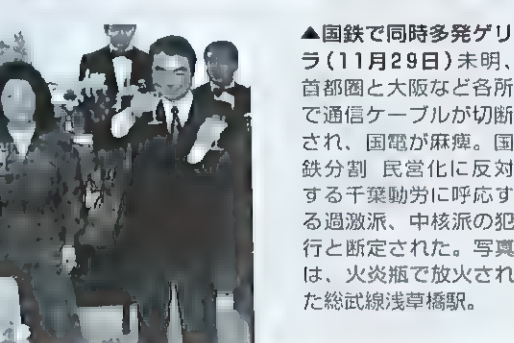


▲「スパイ防止法案」廃案(12月20日)野党だけでなく、各界からも「表現の自由を制限する」などの批判をあげ、一度も審議されなかった。写真は名古屋弁護士会170人が7日、市内で行った反対デモ。



▲元横綱の輪島(37)廃業(12月21日)「花籠」の名跡を借金の担保にするなど、不祥事続出に協会がついに断。「相撲の天才」も、親方案は失格だった。

▶元「越山会」の女王「復活」(12月12日)田中元首相の秘書だった佐藤昭子が、東京に事務所開き。半年ぶりの活動開始を、金丸幹事長ら自民党議員37人が祝った。



- 昭和60年12月
- 1(日)国家公務員の汚職摘発が前年の二倍と判明
  - 2(月)中・高生者間でダンスがブーム、と新聞に
  - 3(火)NTT、フリーダイヤルのサービス開始
  - 4(水)警視庁の「いじめ特別補導班」、一カ月で五七人を逮捕・補導と発表
  - 5(木)森昌彦(祇園、西武ライオンズの監督に就任)
  - 6(金)日本リダーズデザインエースト、労組に対し営業停止を通告
  - 7(土)バック・トゥ・ザ・フューチャー「封切」
  - 8(日)那覇市で第一回NAHAMマラソン開催
  - 9(月)国鉄職員の家賃増への配転希望が殺到と判明
  - 10(火)協和発酵、制癌剤のY型インターフェロンをチバガイキに社に供給すると発表
  - 11(水)アグネス・チャン、信州大客員講師に選任
  - 12(木)老人医療費が前年度比二・六割増と厚生省
  - 13(金)東京電機、土田部・白石・ビース原簿の事件の六被告全員に無罪判決
  - 14(土)テレビゲーム攻陥本の売り上げ好調と新聞に
  - 15(日)時短に逆行、年休が八二日に減少と労働省
  - 16(月)文部省、大検必修科目から体育・保健を削除
  - 17(火)栗芝などがヒル清掃ロボット開発と新聞に
  - 18(水)宮城県議会、スパイクタイヤ規制条例を可決
  - 19(木)抜かない治療が広まり、歯科大学では研究、実験用の歯が不足と新聞に
  - 20(金)衆院内閣委、国家秘密法案の廃案を決定
  - 21(土)FIM横浜開局、首都圏二局目のFM放送
  - 22(日)内閣制度創始百周年記念式典、挙行
  - 23(月)日航機墜落事故現場地、上野村などへの自航機員の募金が七〇〇万円を突破と新聞に
  - 24(火)愛媛人の立川淑教授、タイオキンを初めて人体から検出と発表
  - 25(水)小学校の四分の一が一輪車を備品、と新聞に
  - 26(木)日中長期貿易取り決めの合意、石油九〇万、前後を毎年輸入など
  - 27(金)SDI構想への日本の技術供与が可能となる
  - 28(土)自動車生産が過去最高の「二二万台」と推計
  - 29(日)日航機事故の遺族補償交渉成立は五人と判明
  - 30(月)大田区のコンビニ強盗、逃走の大学生を刺殺
  - 31(火)靖国神社富司がA級戦犯犯忌を小断と新聞に



# 儀 樂 多 市

## 流行語

### 妻の不倫願望に火をつけた

4月、エポック社から発売された動物人形シリーズ「シルバニアファミリー」。動物は136種類もあった。



エポック社提供

「金妻」。TBSのドラマ「金曜日の妻たちへ」から出た流行語で、不倫願望の妻をさす。ドラマは三角関係あり、不倫やレズありで「夫が私をかまってくれない」「理解してくれない」と不満だらけの妻たちの潜在的欲望を大いにそそった。「分衆」。博報堂生活総合研究所の造語で、分割された大衆という意味。これまで大衆は均質で、画一的なものとされてきたが、個性的で自己主張を持つ、多様な潮流に分かれたという判断から生まれた。電通も同じような意味で「少衆」という言葉を作った。

## 結婚

### 盛況！二四時間営業の結婚式用教会

東京・新宿で二四時間営業の結婚式用教会が人気を呼んでいる。名前を「スカイチャペル」といい、ちゃんと牧師が常駐しており、深夜でも早朝でも挙式OK。開業したのは一年前で、「アメリカのラスベガスには二四時間営業の教会があり、若いカップルが深夜に挙式するケースも多い。新宿は日本のラスベガス、同じような若者がきつと出てくる」という関係者の思いつきから生まれた。

料金が安いのも特徴で、牧師謝礼から結婚証明書書き、オルガン演奏など、いっさいを含めて九万六〇〇〇円。これまでに、深夜二時から式をあげたカップルが数組。今は大晦日の二時、除夜の

## 三面記事

### やくざ業界は超一兆円産業

一月二六日、山口組の竹中正久組長と中山勝正若頭という、ナンバーワン、ナンバーツーが「和会」の組員によって射殺されるという事件が起こった。経済的利権をめぐるトラブルがもとと言われる。今、やくざ経済はどうなっている



▲7月1日、ダイエーグループが「オレンジページ」創刊。定価200円。

のか？ 科学警察研究所の調査によると、やくざ経済の市場規模は今や一兆円を超え、一兆三〇〇億円くらいという。そのうちの約四〇％、四一五〇億円が覚醒剤で、後は売春、債権取り立て、それに用心棒代やギャンブルのノミ行為などである。たとえば竹中組の場合、プロ野球の全公式戦、春夏の高校野球を対象にしたノミ行為だけで一億五〇〇〇万から二億円の収入があると言われている。

社会  
 『塀の中の住み心地？日本初のムシ調査』  
 「あなたのいる刑務所の『住み心地』はどうですか？」  
 三菱重工ビル爆破事件（昭和四九年）で懲役八年の判決を受けた荒井まり子被告（三四）を中心とする六人が、日本の刑務所や拘留所に収容されている人々を対象に日本初の調査を行った。一〇〇人にアンケートを配布して、回答は二三人。それを見ると、

セックス  
 市の広報でお知らせ  
 男女生み分けセックス法  
 東京・東久留米市の広報紙「ひがしくるめ」に「簡単な男女生み分け法」という記事が掲載された。真面目な記事だが、これが妙に刺激的。たとえば「女子を望む場合」には、

この年の初めのスポーツに水虫防止に五本指の靴下  
 バンストの出前 大阪の会社が始めたもので、足（九五円）でもOK。  
 カンガルー料理の店 こちらも大阪にオープン バーベキュー、一人前、二〇〇円。  
 ミステリー専門書店 愛知県岡崎市にオープン  
 恐竜の足跡 群馬県中里村で日本初めて発見

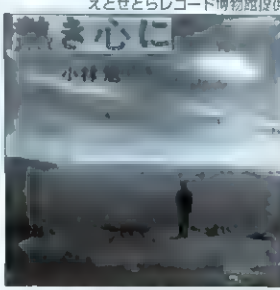
## はやり歌



▲中森明菜がリズムカルに歌って、この年の第27回日本レコード大賞を受賞した。

ミ・アモレ  
 あなたをさがしてのばした指先が踊りの渦にまかれてく人ごみに押されてリオの街はカーニバル銀の紙吹雪黒いヒトミの踊り子汗を飛ばしさらめく羽根飾り魔法にかかった異国の夜の街

熱き心に  
 北国の旅の空 流れる雲 はるか  
 時に 人恋しくくちびるに ふれもせず別れた女 いずこ胸は 焦がれるまま  
 熱き心に 時よどれなつかしい想い つれてもどれよあ、春には 花咲く日が



▲CMソングとして人気を呼んだ。小林旭にとって「昔の名前で出ています」以来の大ヒット。JASRAC(出)許諾第9714785-701号

熱き心に きみを重ね夜の更けるまに 想いつのらせあ、秋には 色づく日があ、冬には 真っ白な日が胸を叩く 歌を歌う 歌をオーロラの空の下 夢追い人 ひとり風の姿に似て 熱き心 きみに



▲北条司の「シャーペン」が「少年ジャンプ」で連載開始「キャッツ アイ」に次ぐ彼の代表作

## CM100年 タレント・とんねるず



テレビCM  
 「ヤリガイ」――週刊就職情報（現B・N・O）リクルート  
 情で土地の旧家である松田家にとのタバコ入れが贈られたらしく、東京国立博物館の調査でもほぼ間

データ  
 そして誰もいなくなる過疎の村の人口調査  
 ファッションの氾濫、レジャー施設の充実で、大都会に人口が集中する一方、取り残された村の過疎化も深刻になるばかり。この五年間で、人口の七割がなくなった村がたかさんある（上段が昭和十五年、下段は六〇年）  
 愛媛・別子山村：八、六八八→三五六八  
 岐阜・坂内村：二、五〇八→八四八  
 岐阜・藤橋村：四、五五八→〇八七八  
 福井・和泉村：五、六六八→一九二八  
 （同上）「六〇年版・過疎対策の現況」



▲この年、ウインドサーフィンが若者の間で人気に。写真は貝塚市「色の浜海岸」。



▶「月五回」から「月一回」まで、88年東京レクシオン」が開催された。



# 本物志向が、たんなるラッシュンか？ 八万円のデイナーの一方で残飯一〇〇〇万トン！ 「億総グルメ」が変えた日本人の舌



日本列島が、空前の「飽食の時代」にひたっていた。一人八万円の豪華デイナーに人々が群がり、都心に大型高級食材店がオープンし、世界から空輸された珍味のカタログ販売が大盛況となった。一方調理済み食品に人気を集まり、年間の漁獲高に匹敵する一〇〇〇万トンの残飯が生ゴミとして廃棄されていたのである。

## 「飽食の時代」の反面 食糧自給率は五〇％

「機長たちがおいしいものを世界から」とうたった小冊子が、静かなブームを呼んでいた。昭和六〇年夏に創刊された「グルメ・ファーストクラス」には、世界から空輸した、海老やカニ、フォアグラ、トリユフ、キャビアにはじまり、チーズ、ワイン、ブランドーなど、グルメ好みの逸品がずらりと並ぶ。発行は日本航空グループのエイジエス通商。会員限定の高級食材の無店舗販売だった。

「当初の会員は約五〇〇〇人でしたが、口コミで広がり、翌年の夏には、会員が一〇倍強の五万四〇〇〇人にふえました。品が粒よりだったのに加え、現役の国際線機長の世界の食べ物談義、さらに中へ

リカテッセン（高級食材）の展開に力を入れ、デパートの食品売り場がこれに対応して、競って売り場を拡充したのも特徴的だった。消費者は、多少割高でも「本物の味」を求め始めたのである。

この年はまた、日本の黒字体質に世界の非難が集まった。このため、日本貿易振興会は「インポートバザール・東京」を開催したが、そこでも、入場した約四〇万人の人氣は、もっぱら「食」に集中した。五億円の売り上げのうち、食材や酒が三割を占めたのである。

グルメ相手の新ビジネスも登場した。伊勢丹がこの年一月に発売した「ホームパーティーギフト」は、一〇人分一五万円、中華（留園）、懐石（わらびの里）、フランス料理（ホテルオークラ）の調理師とウエイトレスが各家庭に向いて、サービスしたのだった。

こうした中で、経済効率万能主義がまかり通り、本物の味が失われつつあることに警鐘を鳴らす、「自然食マンガ」の「美味しんぼ」が大ヒットした。この年の正月に、初めて単行本化された「美味しんぼ」は、あつという間に一〇〇万部を突破する。連載は今も続き、単行本は平成九年十二月末現在で、八六〇〇万部の超ベストセラーとなっている。

共同通信社

東京・六本木のアイスクリーム店で行列する人々。テレビや雑誌などで紹介された店には、〇したちが殺到した。

▲身近にはないおいしいものを食べるために、地方の特産物を取り寄せる「ふるさと小包」も、この頃人気だった。



国料理の周富徳、フランス料理の石鍋裕さんら実力派の料理人が登場したのが効果的だった」とエイジエスの小西健太常務は言う。

前年の昭和五九年九月、東京に開店した、著名なパリのレストラン「トゥール・ダルジャン」は、この年のパリ祭に、八万円の豪華デイナーを企画したが、定員の八〇人はまたたく間に埋まった。当日は、スメタナ弦楽四重奏団の演奏を楽しみ、それから本格的なデイナーに移る凝った演出。通常でも鴨料理コースとワインで、一人三万円程度と庶民には手が届かず、ハイソサエティーか社用族が客の大半だったのが、さらにこの日は盛装の客が群がったのである。

一方、家庭用食材にも大きな様変わりが出ていた。一〇月にオープンした東京・新宿の「クイーンズシェフ」は伊勢丹直営の高級食材店。五五〇〇品目の食材を一堂に集めたのがミソで、商品ごとに産地、製造方法、栄養価などを表示した。顧客の食に対するこだわりを配慮した店舗構成だった。さらに、チーズ、肉などはその場で切り売りするなど百貨店とは違う高級感を演出してみせた。さらに、食品各社が「デ



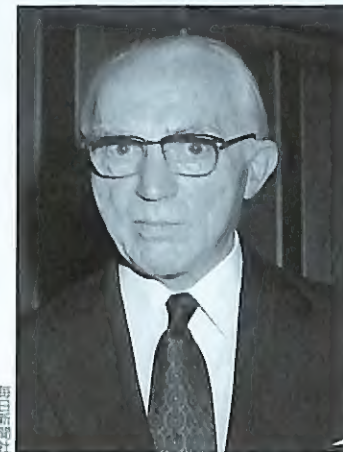
▲昭和60年1月1日刊行のマンガ「美味しんぼ」。1年間で100万部が売れた。



# バイテク立国「日本への ロベール・ギランの危惧」

佐伯修

この年、筑波で開催された「科学万博」は、海外でも注目をあびたが、フランスの新聞・雑誌の反響を、同国のベテラン日本通ジャーナリスト、ロベール・ギラン（一九〇八〜八六）がまとめて紹介している（『朝日新聞』五月四日）。「リベラシオン」紙などが「（日本はもはや）外国の発明を模倣、発展させるだけの国ではないことを実証した」と好意的な見方をしているのに対し、「フュチュリブル」誌の「筑波は多分気の狂った技術者のデイズニランドにすぎないのだから」という酷評も見られる。



▲戦後は「ル・モンド」紙で活躍。

イメージを与えていた。一九八五年の日本に対して、わたしは大いに感嘆してはいるものの、不安を禁じえない」（矢島翠訳）そして、一〇年後、ギランの危惧は現実のものとなっている。また、彼は日本の文化についても危機感を抱き、日本人には自己の文化と自然について「越えてはならぬ限界がある」とも警告している。

「日本人自身が十分に意識していないのなら、彼らの産業革命が事実上文化革命とだぶっていることの危険について警告する必要がある。その文化革命は、意図したものでないにせよ、中国の文革に劣らず有害なのだ」

ギランの極東との

彼はコメントを加えていないが、翌年刊行された遺著「極東」（邦題「アジア特電」）からは、彼が日本のハイテク技術開発による発展を評価しつつ、それによる経済的な超大国化に歯止めがきかなくなり、米国やヨーロッパとの関係が「近い将来、経済摩擦によってそこなわれる危険があるのではないか？」との危惧が読みとれる。「日本の政治家たちの弱さ（凡庸さ）」は「サイカイ」の暴走を、かつての軍部の暴走と同様に、制御できないのではないかと、彼はあやぶむのである。

「一九六五年の日本は、実に申し分のない因縁は、一九三七年、「アヴァン通信社」からの上海への特派にさかのぼる。翌三八年、東京支局長となった彼は、そのまま敗戦まで日本国内にとどまり、戦時下日本の全期間を目撃する。スパイとして処刑されたゾルゲとも記者仲間だった。

だが、飽食の時代は、バラ色だけではなかった。この年の食糧自給率は全体で五〇％、穀物だけに限ると三〇％、つまり大半を輸入にたよっていたのである。その一方で、全国で捨てられた残飯は、一〇〇〇万トンに達したと推測されている。これは、日本の年間漁獲高にほぼ等しい数字だった。

## フランス料理ブームが グルメ指向を牽引した

こうしたグルメブームはなぜ起こったのだろうか。

「引き金は昭和五〇年当時の、フランス料理ブームです。昭和四五年の大坂万博で、本物のフランス料理を見せられ、ショックを受け、本場に修業に出かけたシェフたちが戻り、徐々にファンを開拓したことが第一。それに、お金に余裕ができた、料理天国（TBS系）の放映が始まるなどマスコミがあおった、女性の社会進出がさかんになった、など多くの複合的要素がブームにつながった」と分析するのは、辻調理師専門学校企画情報部長の山内秀文氏である。

する食材が下降線をたどり、総菜は五〇年代を通じて、実に六〇％もの驚異的な伸びを見せたのだ。これに「役かったのが働く女性たちだった」。

一方、ありあまる食品を前に、若者を中心に「好きなものしか口にしない」風潮が蔓延し始めていた。その結果、「甘さを感じない。何を食べても同じ味しかない」と訴える味覚不全患者が激増したのである。「味覚外来」を設置した病院では、専門医が週一回診察にあたっていたが、患者がふえず、手がまわらない状態が続いた。味覚不全者のふえ方が最も顕著なのは二〇代の女性で、極端なダイエットやインスタント食品、さらには清涼飲料水のとりすぎによる亜鉛欠乏などが原因と言われた。専門医は「飽食の時代の栄養失調」と診断したのである。



▲この頃、エスニック料理店もふえ始めた。写真は東京・南青山の高級タイ料理店。

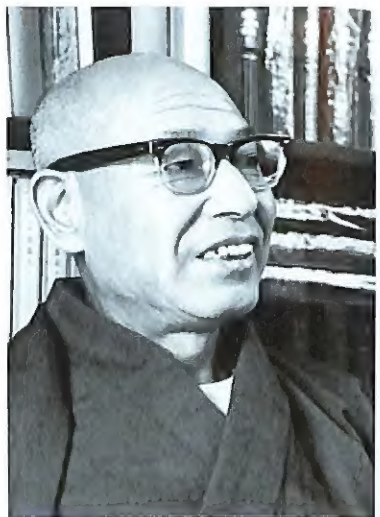
# 往きて 還らぬ



▲1月22日 田山健児(87)  
マルクス主義経済学者で、元九大教授。「資本論」の翻訳も手がけた。三池闘争の指導者としても知られる。



▲1月31日 石川達三(79)  
小説家。昭和10年「蒼氓」で第1回芥川賞受賞。社会批判をテーマに書き続けた。ほかに「生きてゐる兵隊」など。



▲2月20日 中野好夫(81)  
英文学者、元東大教授。戦後は雑誌編集長として護国運動などにも活躍。シェークスピア翻訳者としても著名。



▲2月22日 田山健児(87)  
政治家、実業家。大日本製糖社長、日航会長を歴任。昭和32年外相、翌年衆議院議員(当選6回)。父は藤山雷太。



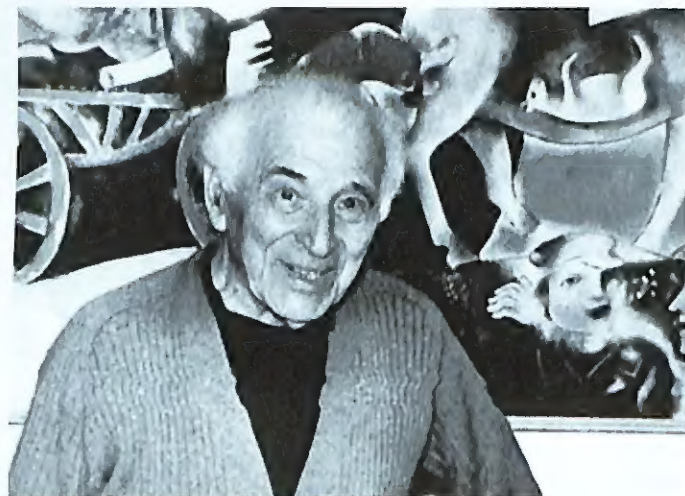
▲6月9日 川口松太郎(85)  
小説家、劇作家。昭和10年「明治一代女」などで第1回直木賞受賞。戦後は大映専務にも就任。妻は女優の三益愛子。



▲9月11日 赤尾好夫(78)  
出版人。受験出版の先駆者。昭和6年欧文社(後に旺文社)創設。「受験旬報」創刊。文化放送会長もつとめた。



▲9月11日 夏目雅子(27)  
女優。テレビ「西遊記」、映画「鬼龍院花子の生涯」などに主演、ファンを魅了したが、白血病により死亡。



▲3月28日 マルク・シャガール(97)  
ロシア出身の画家。鮮やかな色彩で、詩情豊かな幻想的作品を多く描いた。代表作に「私と村」「女曲馬師」など。



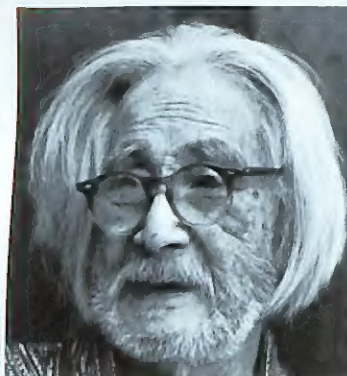
▲3月30日 野上弥生子(99)  
小説家。大正二年「海神丸」を発表し、「流作家」と和四六文化勲章受章。ほかに秀吉と利休など。



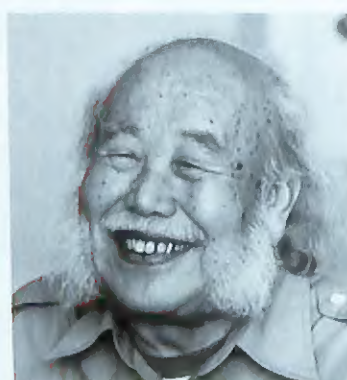
▲10月10日 ユル・ブリンナー(65)  
映画俳優。坊主頭のスタイルで有名。1956年「王様と私」のシャム王役でスターとなり、アカデミー主演男優賞受賞。



▲10月24日 永田雅一(79)  
元大映社長。昭和22年社長に就任。「羅生門」「雨月物語」などを制作。ワンマン社長で知られ、「ラッパ」と呼ばれた。



▲10月25日 物集高量(106)  
国文学者。大正5年父の物集高見と「広文庫」「群書索引」を編集、出版。自伝「百歳は折り返し点」がある。



▲12月24日 加藤九郎(88)  
陶芸家。昭和初期古窯を発掘調査。昭和27年無形文化財。昭和35年の「永仁の壺」事件で、すべての公職を捨てた。







